

特45-347



1200800203897

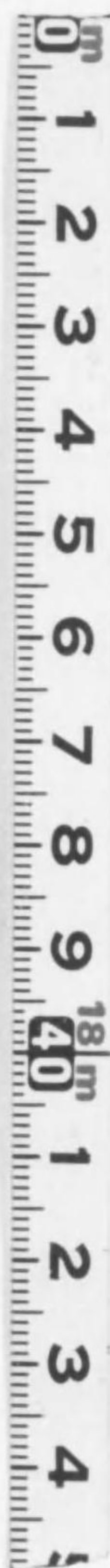
特45

347

農村經濟調查

中頸城郡和田村

新潟縣農會



始



緒言

經濟界ノ趨勢ハ農村ヲシテ舊來ノ事業ヲ墨守スルヲ容サス、何等カ時勢ノ進運ニ伴フ施設ヲ行ハサルヘカラスト雖モ、土地ト勞力トヲ基礎トスル農業ニ在リテハ其改善素ヨリ地方ノ事情ヲ無視スルコト能ハス。是ニ於テカ、本會ハ明治四十三年度ニ於テ、十六ヶ村ヲ選ミ、其ノ經濟狀態ヲ調査シ、將來ノ農業方針ヲ確定シ、事業ノ緩急ヲ圖リテ實行ヲ期センコトヲ欲シ、豫メ地方ノ有志者ト協定シ、之レカ調査ヲ施行シタリ、本調査ハ即チ其ノ一二屬ス。而シテ其ノ始メ調査ニ着手スルヤ、元來個人統計皆無ノ事項少カラサルヲ以テ其ノ困難名狀スヘカラサリシモノアルニ關ラス、委員諸氏ノ熱心ナル實査ニ由リテ完成ヲ遂ケ此ニ之ヲ發表スルヲ得タルナリ。

新潟縣農會

明治四十四年三月二十五日

特45
347

特105
283

中頸城郡和田村委員氏名

調査委員長 饒村 彬 成 (國 賀)

副委員長 池田 甚 吉 (七ヶ所新田)

調査主任 鈴木 文 照 (島 田)

吹山 忠 十 郎 (下箱井)

藤 卷 久 助 (栗 原)

金子 喜 太 郎 (柳 井 田)

横田 惣 太 郎 (石 澤)

鈴木 文 照

齋 藤 昌 平 (岡 原)

庶務掛

農村經濟調査

中頸城郡和田村

目次

第一位 位置	一
第二位 地勢	一
第三位 交通	一
第四位 地質	二
第五位 土質	三
第六位 氣候	三
第七位 沿革	四
第八位 土地及戸口	五
第九位 農地	七
第十位 農民	二
第十一 栽培	一四

(イ) 各作物ノ作付反別及收穫
 (ロ) 田地ノ等級平均收穫
 (ハ) 小作料

第十一 經濟

(ニ) 地主ト小作人トノ收穫比較	二二
(ホ) 重ナル作物收支計算	二二
(ヘ) 肥料	二二
(ト) 山林	二二
(イ) 農民一家經濟ノ狀況	二二
甲 收入	二二
乙 支出	二二
(ロ) 本村ノ經濟	二二
甲 歲入	二二
イ 本村生産額	二二
ロ 本村民力他町村ヨリ得ヘキ收入	二二
ハ 貯金其他ノ利子	二二
ニ 商業利益	二二
ヒ 報酬及給料	二二
ヘ 勞働利益	二二
ニ 他町村ヨリ收入スヘキ諸税	二二
チ 雜收入	二二
乙 歲出	二二
一 公地	二二
二 本村消費額	二二

三 本村民カ他町村ニ拂フヘキ支出額
丙 算入出總額比較

第十三	勞力	六四
第十四	現住人口	六七
第十五	一ケ年勞働日數	六八
第十六	役用家畜	六九
第十七	副業	七〇
第十八	本村農業ニ關スル施設ノ狀況	七一

九	職業	
十	風俗及習慣	
十一	本村民ノ農業ニ對スル觀念	
十二	本村農會ノ施設事業	
第十九	將來ノ施設	八三
一	耕地	
二	生産	
三	經濟	

- 一 土地及人口
- 二 農地
- 三 農民
- 四 栽培
- 五 經濟
- 六 勞力
- 七 家禽
- 八 副業

農村經濟調查

中頸城郡和田村

第一、位置

本村ハ中頸城郡高田町字伊勢區ト連擔櫛比シテ矢代川ヲ狹ミ、南方里餘ニシテ新井町字稻塚ニ接續ス。村ノ東方ハ關川ヲ以テ板倉村ニ界シ、只僅ニ本村大字廣島ノ小字飛地アルノミ、其東北部ハ關川ヲ隔テ、三郷村ニ、矢代川ヲ越エテ高田町字西藪野新田ニ接シ、西方及西南部ハ矢代川ヲ距テ、斐太村ニ接シ、該川ヲ越エテ是亦僅少ナル大字柳井田ノ飛地ヲ有セリ。而シテ其西北部ハ沃野ヲ以テ直ニ金谷村ニ接續ス。
本村ハ東西二十四町、南北一里十九町三十間ニシテ、其村形ハ中央部ヨリ南方ニ進ムニ從ヒ狹小ニシテ、漸次北方ニ至ルニ及ビテ面積尨大シ、東西ニ短クシテ南北ニ長シ、其形恰カモ瓢狀ヲ呈ス。

第二、地勢

本村ハ平坦ナル沃野ニシテ、些ノ丘陵、林野ノ起伏スルヲ見ズ、然レドモ本村ハ元來關、矢代、兩川ノ冲積土ニシテ、中央部ハ稍隆起シ、東西兩端即チ二川ノ沿岸ハ漸次遲緩ナル勾配ヲ以テ低向シ、其狀恰カモ上弦形ノ如シ。然レドモ其傾斜方向ヲ概言スレバ、北方ニ傾クモノ、如シ。

第三、交通

本村ノ交通機關トシテハ、國、縣、郡道數線路ノ設ケアリ、即チ本村ノ西部ヲ南北ニ縱貫スル信越鐵道アリ而シテ是ト並行シ或ハ交叉スル國道五號線ハ、本村大字高田新田、荒町、今泉、脇野田、土合、七ヶ所新田、石澤、西田中、柳井田、栗原ヲ通過ス、而シテコハ高田町ヨリ新井町ヲ經テ長野縣ニ通ズル要路ナリ。之ニ

二

亞イデ本村ノ東北部ヲ横斷スル縣道針線アリ、高田町字伊勢區ヲ起點トシテ、本村大字下新田、下箱井、島田下新田、島田ヲ經テ板倉村大字針ニ通ズルヲ以テ此名アル所以ナリ。郡道トシテ縦貫スルモノハ稻塚線及箱井線ニシテ、稻塚線ハ縣道針線中大字島田ヨリ島田上新田、木島、廣島、月岡、國賀ヲ經テ新井町字稻塚ニテ國道五號線ニ達シ、箱井線ハ高田町字西藪野新田第十三師團砲兵第十九聯隊南方ヨリ縣道三鄉線ヲ横キリ本村大字下箱井ニテ縣道針線ト交リ、岡原、中箱井、上箱井、寺町ヲ經テ西田中ニテ國道五號線ニ連絡ス而シテ又本村ヲ横斷スル郡道ヲ甲石澤線・甲久々野線ト云フ。甲石澤線ハ、國道五號線中本村大字石澤ヨリ寺町木島ヲ經テ、對岸ナル板倉村大字田井ニ達ス、甲久々野線ハ、郡道箱井線甲石澤線ノ交叉點即チ寺町ヨリ分岐シテ、本村大字上百々、廣島ヲ經テ對岸ナル板倉村ニ達スルモノナリ。

本村ハ二十六ヶ大字ヨリ成リ、何レモ國縣郡道等交通機關ノ利便ニ浴スルヲ以テ、洵ニ地ノ利ヲ占メタリト云フヲ得ベク、高田、新井兩町ノ市場ニ近クシテ、村民ハ朝夕往來シテ、肥料ノ搬出ニ、或ハ穀菽ノ輸出ニ努メ、若クハ此ノ交通ノ利器ヲ用キテ農暇勞銀ヲ獲得スルノ便アリ。故ヲ以テ近年村民ノ所有スル荷車個數著シク増シタルガ如キハ注目ニ値スルモノナリ。

惟フニ、本村ノ交通状態ハ、概言スレバ天與ノ地利ヲ占メ、農産物ノ輸出及ビ金肥ノ輸入ニ於テハ無比ノ利便ヲ博シツ、アルハ、本村農民ノ等シク喜ブ所ナリ。然ルニ之レニ反シテ尤大ナル耕地ヲ縱横ニ貫通スル所謂里道ノ完カラザルト、本村ヲ東西ニ横斷聯結スル線路ノ開鑿少キトハ、偏ニ遺憾トスル所タラズンバアラズ。

第四、地質

關、矢代兩川ノ沿岸ハ四紀新層ニシテ、其他ハ概シテ三紀層ニ屬ス。

第五、土性

本村ノ土性ハ、各大字ニ因リ各場所ニヨリテ其成分一様ナラズト雖モ、關、矢代兩川ノ沿岸ハ砂質壤土多ク其他ノ地ハ、砂質壤土、粘質土、粘質壤土及ビ壤土ノ四類ニ屬スルモノ、如シ。

第六、氣候

氣候ノ調査ハ、本村ニ於テ正確ナルモノヲ調査スル能ハズ、何トナレバ是等學術的ノ調査ヲ爲スガ如キ設備アラザレバナリ、依リテ本郡農會ノ調査ヲ茲ニ掲記スルコト、ナシタリ。

氣候

初雪期	明治四十三年十二月二日
晩雪期	全 年 四月一日
初霜期	全 年 十一月廿七日
晩霜期	翌 年 未 知

各月平均氣溫降水量及風向

(明治四十三年度)

月次	項目	氣溫	最高	最低	降水量	風向
一月	氣溫	四、五	七、二	九、三	二六、〇	東南 六
二月	氣溫	〇、四	三、七	九、一	二九、四	東南 七
三月	氣溫	三、一	六、〇	九、〇	一九、五	東南 五
四月	氣溫	一三、二	一五、九	四、五	三七、七	東南 二
五月	氣溫	一八、〇	二二、〇	九、八	七四、七	東南 六
六月	氣溫	二三、六	二五、四	一五、一	一五、三	東南 八
七月	氣溫	二五、八	二七、九	二〇、三	一七、一	東南 二
八月	氣溫	二五、八	二七、九	二〇、三	一七、一	東南 三
九月	氣溫	二〇、三	二二、〇	九、八	七四、七	東南 一
十月	氣溫	一三、二	一五、九	四、五	三七、七	東南 一
十一月	氣溫	三、一	六、〇	九、〇	一九、五	東南 一
十二月	氣溫	〇、四	三、七	九、一	二九、四	東南 一
全年	氣溫	九、三	二六、〇	二、六	二六、〇	東南 一

八月	二七、一	二九、二	二〇、六	二五、五	八	四	四	二
九月	二七、七	二五、八	一六、三	二五、二	九	三	一	三
十月	二七、八	一九、六	一一、二	一七〇、三	三	八	一	二
十一月	二二、六	一五、〇	四、八	一五〇、三	三	九	二	四
十二月	三、一	六、一	九、四	六〇六、一	二	七	三	四

第七、沿革

本村ハ廢藩當時高田藩主柳原氏ノ領有ニ屬シキ。明治二十一年町村制發布ノ後、國明、大倉、下板倉、大和ノ四ヶ村ト稱セリ、而シテ國明村ニハ國賀、栗原、月岡、上百々ノ四ヶ大字之レニ屬シ、大倉村ニハ柳井田西田中、石澤、寺町ノ四ヶ大字之レニ屬シ、下板倉村ニハ廣島、木島、島田上新田、島田、島田下新田、下箱井、五ヶ所新田、丸山新田、下新田、岡原、中箱井、上箱井ノ十二ヶ大字之レニ屬シ、大和村ニハ七ヶ所新田、土合、脇野田、荒町、高田新田、今泉ノ六ヶ大字之レニ屬ス。然ルニ明治三十四年十一月、前記四ヶ村ヲ併合シテ新ニ一村トシ、和田村ト稱ス。今本村役場吏員ヲ舉グレバ、定員九名即チ村長、助役、收入役各一名、書記六名。村會議員定員十八名内缺員一名、學務委員定員十名、區長及ビ區長代理者各二十六名ナリ。水利組合ハ、十個村、四個村、三個村、柳井田、寺町、石澤、上百々ノ七ヶ水利組合ニシテ、本村尋常高等小學校一、尋常小學校三ヲ設ク。本村農會ハ明治三十七年三月ノ設立ニシテ、會長副會長各一名、幹事二名、評議員七名、顧問二十八名、郡農會議員豫備議員各一名、農事督勵委員十八名、技手一名トス。産業組合トシテハ和田信用組合ハ明治三十五年十二月之レヲ設立シ現在組合員百十五名、大和信用組合ハ明治三十六年五月之ヲ設立シ現在組合員百七十九名。寺町報德社ハ明治四十年二月結社社員五十八名、石澤報德社ハ四十一年三月結社社員五十七名、七ヶ所報德社ハ四十一年八月結社社員十八名。城南購買販賣組合ハ明治四十三年三月ノ設立ニカ、リ現在組合

第八、土地及戸數人口

(イ) 本村ノ土地所有者

土地ノ區別	總反別總地價	官有			村有			區有			私有		
		反別地價	反別地價	反別地價	反別地價	反別地價	反別地價	反別地價	反別地價	反別地價	反別地價	反別地價	
田	九五三、一〇一、七	三九、二七、八	三〇、〇〇〇、〇〇〇	—	—	—	六、二九	一八、七〇	九五、五八、二	三九、一五、九	—	—	
畑	七四九、七六、五	二二、〇〇〇、二八〇	—	—	—	—	一四、六〇九	二〇一、八七〇	七五、一〇七、五	三三、七九	—	—	
宅地	七六九、七〇三、六	二四、〇一六、九〇〇	—	—	—	—	五六	一六、八一〇	七六、九、二七、六	二四、〇〇〇	—	—	
山林	九五七、五三三	三三〇、五〇〇	—	—	—	—	—	—	—	七、五三三	—	—	
原野	一〇一、一〇四	一三九、一〇〇	—	—	—	—	—	—	—	八、一〇五	—	—	
雜種地	三、八一	一、二八〇	—	—	—	—	—	—	—	三、四二六	—	—	
合計	二二二、五、二九、八	四三六、七四六	—	—	—	—	九二、二八	六〇八、四六〇	二二二、一、三〇一、八	四三六、二五〇	—	—	

備考 將來開墾シテ田畑トナシ得ベキ原野反別十町一反五畝十七步
 内 田地トナシ得ベキ反別 五町〇八畝二十三歩
 畑地トナシ得ベキ反別 五町〇六畝二十四歩
 將來開墾シテ田畑トナシ得ベキ荒地反別七町七反七畝二十六歩八合

内 田地トナシ得ベキ反別五町四反三畝十歩
畑地トナシ得ベキ反別二町三反四畝十六歩八合
(ロ) 本籍戸數人口

戸數	男		女		計
	人	口	人	口	
一、一九四	三、七八五		三、七五四		七、九三九

備考 本表掲記ノ戸數ヲ以テ、明治四十二年本村役場ノ調査ニ係ル本籍戸數ニ比較スレバ、一ケ年實ニ八戸ヲ増加セリ。而シテ人口ニ於テハ男三十一人女四十四人通計七十五人ヲ増殖セリ。其戸數ノ増加セシハ、本校ト唇齒輔車ノ關係アル高田町ガ第十三師團設置ト共ニ市勢著シク振ヒ、其繁榮ノ狀昔日ノ比ニアラザルヲ以テ、從テ本村亦其餘波ヲ受ケ他村ニ轉住セントスル者全ク其跡ヲ絶チシノミナラズ、本村ニ來住シ或ハ新ニ一戸ヲ構フルモノアルニ至リ、如斯好現象ヲ呈セシモノト信ズ

(ロ) 現住戸數人口職業別

種目	區別		種目	區別	
	専業	兼業		専業	兼業
農	五七	三四	農	六	四九
工	二四	二二	工	三七一	三〇四
商	二七	二六	商	三〇	三〇八
合計	一二七	一〇七	合計	三〇四	三二一

備考 本表ニ掲記セシ戸數人口ハ、本籍戸數中ノ現住戸數及ヒ寄留戸數ヲ含ム、但シ永住ノ見込ナキ寄留

第九、農地

戸ハ之レヲ除ク、現在人口トハ戸籍面ノ人口ニアラズ現ニ居住スルモノノミヲ調査セリ、但シ一ケ年出稼スルモ一ケ年中一回二回歸宅シタルモノハ之レヲ算入シタリ。本表中ニ農兼業ト稱スルハ、農業以外ニ他ノ商工業ヲ兼テ生計ヲ營ムモノニシテ、之レヲ細別スレバ、農商業、農工業、農商工業等ノ如キモノヲ指ス。工兼業トハ、工業以外ニ他ノ農商業ヲ兼テ生計ヲ營ムモノニシテ此ノ中ニハ工農業、工商業、工商商等ノ如キモノアリ。商兼業トハ、商業以外ニ他ノ農工業ヲ兼テ營ムモノニシテ、本業ノ中ニハ商農業、商工業、商農工業ノ如キモノモアリ。雜專業トハ僧侶、神官、醫師、自作セサル地主等ノ如キモノヲ指シ、雜兼業トハ之レ等以外幾種ノ雜業ニ從事シテ生計ヲ營ムモノヲ云フ

(イ) 本村ノ農地所有者

農地ノ區別	總反別總地價		他町村民ノ所有		本村民ノ所有	
	反	價	反	價	反	價
畑	九五三	一〇一、七三九	二五三	八二〇	一三〇	六九五
田	七四九	七六、五二二	一四、八二二	四、七六八	七	六〇四
合計	一、〇八二	一、八八二	二六八	一、二〇八	一三七	一、二六九

備考 本表ニ掲記セシ反別地價ハ、土地臺帳ニ基キ、其所有者ハ戸主非戸主ヲ問ハズ之レヲ計上シタリ

(ロ) 本村民カ他町村ニ於テ所有スル農地

農地ノ區別	反	價	人員
田	三二一	〇二二	四三

合 畑 五〇七、八七〇
 備考 本表ニ掲記セシ反別地價人員ハ、他町村役場ヨリ本村役場へ移動通知セシモノニ基キ之レヲ計上シ
 タリ 一二、三三三、八〇〇 三七
 八〇

農地ノ區別 (ハ) 本村民ノ所有權アル農地 別
 反 七三〇六、三三三、七合
 地 二九七、二七三、一五〇
 價 一八、七三九、二九〇
 三三六、〇一二、四四〇

合 畑 七九六八、一〇一、二合
 備考 本表ニ掲記セシ反別地價ハ、本村土地臺帳及ビ他町村ヨリ本村民ガ所有セル土地ヲ本村役場ニ移動
 通知セルモノニ基キ之レヲ合算シテ計上セリ
 自作及小作反別 計
 自作反別 七六八、六〇二、五合
 小作反別 九七三、二八、六合
 計 五五六、〇〇二、五

農地ノ區別 (ニ) 自作及小作反別
 自作反別 一八三、五二六、一合
 小作反別 七六八、六〇二、五合
 計 九七三、二八、六合
 備考 本表ニ掲記セシ自作トハ、耕作地ノ三分ノ二以上ヲ所有スルモノヲ指シ、小作トハ多少土地ヲ所有
 スルモ其耕作地ノ三分ノ二以下ナルモノト全ク土地ヲ所有セザルモノトヲ指ス
 (ホ) 本村ノ農地ニシテ他町村民ノ自作又ハ小作ヲ爲ス反別
 自作反別 一八三、五二六、一合
 小作反別 七六八、六〇二、五合
 計 九七三、二八、六合

農地ノ區別 (一) 自作及小作反別
 自作反別 二六、二一九
 小作反別 二二、七二四、一合
 計 二五八、〇三三、一合
 備考 本表ニ於テ自作小作ト稱スル區別ハニ自作及ヒ小作反別ノ項ニ於テ記載シタルモノニ同シ
 (ハ) 他町村ノ農地ニシテ本村民カ自作又ハ小作ヲ爲ス反別
 自作反別 四、六三三
 小作反別 一八九、〇三三
 計 一九三、七二四
 四二、八〇六、一合

農地ノ區別 (ト) 乾田並濕田反別及旱損地水害地反別
 自作反別 一、四四五
 小作反別 八三、四三二
 計 八四、九二七
 合 畑 計 一、五五五
 自作反別 一〇〇
 小作反別 一五、七四
 計 一一五、八〇一
 備考 本表ニ於テ自作農小作農ト稱スル區別ハ前表ニ同シ

作付反別 乾 田 濕 田 旱損地 水害地
 乾田ト爲シ得ヘキ反別 絕對ニ排水シ能ハサル反別
 九七三、二六、六合七、七合七、七合二七、八〇二、九合 三三八、二二七 五五八、四三二
 三七七、五二、九合
 五五六、〇〇二、五 六七、〇〇〇 三八、五二二
 備考 乾田ト濕田トノ收穫ヲ比較スレバ、乾田ト雖モ敢テ濕田ヨリ多穫ノモノト斷定スルヲ得ス、而シテ

又濕田ノ如キハ乾田ニ比シテ施用肥料價格ノ低廉ナルヲ以テ、時トシテハ濕田ハ乾田ニ比シテ其ノ收支計算上收入ノ優良ナルモノヲ認ムルモノナキニシモアラズ、一般農民ノ乾田ニ關スル感念ハ、既往ニ徴スレハ、二毛作收支價ヒシ當時ニ於テハ競ヒテ乾田ヲ得ント欲セシカ、勞働賃銀ノ昂騰並ニ金肥價格暴騰ニ伴ヒテ麥作營業ノ如キ所謂二毛作ノ收支相償ハサル今日ニ於テハ、却テ反對ノ現象ヲ來タシ、強テ乾田ヲ好マサルノミナラズ開闢ノ裡ニ濕田ヲ得ントスルノ傾向ヲ來セリ。故ヲ以テ濕田ヲ乾田トナサントスルノ狀況ヲ認メズ、然レドモ本村ノ如キハ、大部乾田ニシテ濕田ノ如キハ其歩合極メテ少ナキヲ以テ、之レヲ乾田トナスモ其收穫ニ於テ著シキ差異ヲ認メザルナラン歟。

(チ) 農地所有權ノ異動

農地ノ區別	他町村へ所有權移轉		他町村ヨリ本村へ所有權移轉		自村内ノ移轉	
	件數	人員	件數	人員	件數	人員
田	15	15	3	3	4	4
畑	4	4	7	7	9	9
合計	19	19	10	10	13	13

備考 (一) 本村ヨリ他町村民へ所有權ノ移轉シタルモノハ、田地ニ於テハ新井、斐太、金谷ノ一町二ヶ村ニシテ、畑地ニ於テハ高田町及ヒ金谷村ナリ。而シテ其移轉ハ本村内如何ナル程度ノ者ナルカヲ調査セシニ、大地主、自作農ニ於テハ畑地ヲ移轉シ、小作農ニ於テハ田地ヲ移轉セリ。

(二) 他町村民ヨリ本村民カ所有權ヲ取得シタルモノヲ舉クレバ、自作農ニ於テハ高田町及新井町ヨリ田地ヲ買受ケ、小作農ニ於テハ田畑共ニ高田町及新井町ヨリ買受ケタリ。

(三) 本村内ノ移動ヲ調査スルニ、田地ニ於テハ賣主ハ大地主ニシテ買主ハ小作農ナルモノ比較的多ク、賣主ノ自作農ニシテ買主ノ自作農ナルト小作農ナルト兩者之レニ次キ、小作農ノ賣主ナ

ルハ其歩合ニ於テ最モ少シ、而シテ畑地ニ於テモ如斯現象ヲ呈セリ。今其因リテ來ル事由ヲ考フルニ、本村内ヨリ他町村へ移轉セルモノニ於テハ、賣主ハ大地主自作農ニシテ、買主ハ他町村ニ於ケル大地主及自作農ナリ、而シテ其農民一家經濟ニ於テ統計ノ示スガ如ク、大地主ハ時勢ノ進運ニ從ヒ生活費ノ著シク向上シタルニ反シ、收入ニ於テハ敢テ特殊ノ收得ヲ見ザル所以ニシテ、自作農ニ至リテハ其一家經濟ハ明カニ幾分ノ利益ヲ示スモノアルモ、動モスレバ生活費ノ膨脹ニヨリテ如斯狀態ヲ示スモノナラン歟。小作農ニ至リテハ其一家經濟ニ於テ損失ヲ免レサルカ如シト雖モ、副業ニ於テ勞銀ヲ獲得シ勤勉奮發以テ之レヲ經營スルカ故ニ、如上ノ現象ヲ呈スルモノナラン歟。然リ而シテ茲ニ小作農ト稱スルモノハ、完ク土地ヲ所有セサルモノヲ指スモノニ非ラス、多少ノ土地ヲ所有スルモ其耕作地ノ大部分ハ他人ノ土地ヲ耕作スル所謂自作兼小作ノ如キモノヲ云フ。

(リ) 農地買買價格ト公定地價トノ比較

農地ノ區別	上		中		下	
	一反歩買價格	公定地價割合	一反歩買價格	公定地價割合	一反歩買價格	公定地價割合
田	18,930	三倍五分	15,065	三倍五分	7,518	三倍五分
畑	24,380	四倍	31,400	四倍	16,630	三倍

備考 本表掲記ノ公定地價上中下ハ、本村貳拾六ヶ大字ノ公定地價ヲ概均シタルモノニシテ、其割合ハ賣主買主ニ依リテ一様ナラス、何トナレハ買主自作農ノ場合ニアリテハ或ハ買受割合昂騰スルモ買主カ其土地ヲ小作者ニ耕作セシムル場合ニ於テハ、自作農ノ時ヨリモ低廉ナル場合ナキニシモアラス。而シテ又米價ノ昂低公租公課賦課ノ輕重或ハ其部落ノ人氣如何等複雑ナル事情ニヨリテ一定シタルモノニアラス。然レトモ明治四十三年度ニ於テ、本村ニ賣買行ハレタルモノハ、以上

第十、農民

(イ) 農業戸數及人口

農業戸數	人口		從業者		非從業者	
	男	女	男	女	男	女
專業	五七〇	一、六九一	五五〇	一、〇七四	五七〇	一、四八〇
兼業	三三〇	一、〇七〇	三九一	一、〇〇九	三九一	一、〇〇九
合計	九〇〇	二、七六一	九四一	二、〇八三	九六一	二、四八九

備考 本表ニ掲記セシ戸數及ヒ人口ハ、現住ニ依リ計上シタリ
但シ永住ノ見込ナキ寄留戸口ハ之レヲ除ク

(ロ) 自作及小作農戸數及從業者

農家ノ區別	耕作反別	農戸數	從業者	
			男	女
自作農	一三三、五五、一合	一四五	二二七	三〇五
自作兼小作農	一〇八、七〇〇、六	九二	一六三	一八八
小作農	六八〇、九〇、九	六七五	一、二四六	一、二八二
合計	九二二、一五、六	九一二	一、五二六	一、七七五

備考 本表掲記ノ自作農、自作兼小作農、小作農ノ説明ヲ略ス
從業者トハ、農業労働ニ従事スルモノヲ云フ

(ハ) 耕作反別ト農戸口トノ比較

耕作地ノ區別	本村民ノ耕作反別	農戸數	從業人員	一戸平均反別	一人平均反別
畑	九七三、二六、六合	九二二	三、三〇一	一〇、二〇、四合	二、八〇、七合六
田	五五六、〇〇、五	九五一	三、一五	五五、四	二、三、五合五
合計	一、五二九、二六、一	一、八七三	六、四五六	一〇、七五、八	二、九六、三合一

備考 本ニ掲記セシ本村民ノ耕作反別ハ、本村ノ土地ナルト他町村ノ土地ナルトヲ問ハズ、耕作セシ
總反別ヲ計上シタルモノナリ

(ニ) 所有地ノ大小ニ依リ(他町村ノ所)區別シタル農戸數

田、皆無ノモノ	所有地ノ農地	他町村ノ農地	所有地ニ依リ區別シタル戸數
五反歩未満	四〇	三	四四
五反歩以上	三三〇	二六	三四九
一町歩以上	七四	四	七七
二町歩以上	六七	五	七二
三町歩以上	三一	一	三三
四町歩以上	三三	一	三三
五町歩以上	一八	一	一九
十町歩以上	三	一	三
二十町歩以上	六	一	六
計	五九二	四一	六二六

種類	種類	作付反別	收穫	一反步平均收穫
糯	米	八二〇、〇一五、六合	一七、四七九、九元合	二、一三、七与
大	麥	一〇七、一三三	二、一五、〇五	二、〇〇五、四
小	麥	九〇、五二、一	二六、一三三	一、三九、七
大	豆	七五、五二、九	六四、三三七、五与	八二九、七
小	豆	二八四、〇一〇、八	二八四、一六八、五	一、三五、二、五
菜	豆	二三四、八〇二、七	二〇八、四九二	八八七、九
菜	豆	二二、二〇九、五	九、二二	七五三、八
小	豆	三九、E〇〇	八三、三七、九〇〇	五九七、二〇
大	瓜	五〇、二〇一、三	二五、三六、二〇〇	五〇四、二六七
小	瓜	二〇、六〇八、七	一三、二六五、四〇〇	六四三、〇五〇
胡	瓜	三三、八〇二、二	二二、三九、七〇〇	五二七、四八〇
越	瓜	二、〇二二	三九五、〇〇〇	一九〇、五二〇
牛	房	二四、八二、九	五、六七四、五〇〇	二二八、四二五
葱	房	一八、三〇九、六	六、三七二、五〇〇	三四七、六二〇
燕	菜	三、六二、五	一、八一、二〇〇	四九三、二〇
漬	菜	八六、七〇、三	四七、七四二、六〇〇	五五〇、六四〇
甘	藍	二六、六、六	九九四、五〇〇	三七四、五八〇
里	芋	三三、五〇、七	一一、一〇九、五〇〇	三四一、二〇
長	芋	一一、九二五、五	三、六四六、六〇〇	三〇五、二一〇
馬	鈴	一〇一、五二七、二	三三、五九一、八〇〇	三三〇、七六六

第十一、栽培

(イ) 各作物ノ作付反別及收穫

種別	計	本村ノ農地ヲ耕作スル戸數	他町村ノ農地ヲ耕作スル戸數	耕作地全部ノ大小ニ依リ區別シタル農地ノ農戶數
畑、五反步未滿	九五一	九二二	二一	九六〇
田、五反步未滿	九一二	九二四	二一	九二四
五反步以上	二八八	二八八	〇	二八八
一町步以上	四二〇	四三〇	一〇	四三〇
二町步以上	三五	三六	一	三六
計	二一	二一	〇	二一

(ホ) 耕作地ノ大小ニ依リ(他町村ノ農地ヲ含ム)區別シタル農戶數

種別	計	本村ノ農地ヲ耕作スル戸數	他町村ノ農地ヲ耕作スル戸數	耕作地全部ノ大小ニ依リ區別シタル農戶數
畑、皆無ノモノ	一二六	一二六	〇	一二六
五反步未滿	四四〇	四四〇	〇	四四〇
一町步以上	九	九	〇	九
二町步以上	一八	一八	〇	一八
三町步以上	一	一	〇	一
計	五八五	五八五	〇	五八五

備考 本表ニ掲記セシ戸數ハ、本村ニ現住スル戸數ナリ。而シテ其本村ノ農地ニシテ他町村民ノ耕作スル土地及戸數ハ之レヲ除キタリ

薯 胡 多 扁 百 蓮 甜 南 扇

計	10,577,192.26	10,000.00
薯	1,918.1	32,500
胡	30,815.2	8,811,700
多	3,704.2	331,800
扁	3,606	431,600
百	305	60,100
蓮	2,810.1	2,446,400
甜	1,358	369,500
南	2,857	13,018
扇	19,080	19,080
見込反別	159,400	285,600
	89,607	119,300
	189,280	863,370
	284,200	56,600
	955	

備考 本表ニ掲記セシ作物ノ種類ハ、本村民ガ栽培セル重要作物ニシテ、昨四十三年度ニ於ケル作付反別及收穫ヲ計上シタリ

(ロ) 田地ノ等級別平均收穫

極上	一、反歩平均收穫	見込反別
上	二、六六三	一四三五、一〇五
中	二、三四三	二二八五、一一六、二合
下	一、九一七	三三三二、六一二、四
最下	一、七〇四	一八〇二、〇三三、三
	一、四九〇	六七八、一〇四、八

備考 本表ニ掲記セシ田地ノ等級ニ於テ、極上、上、中、下、最下ト稱スルハ、一等田ヨリ十二等田迄及ヒ等外一等ヨリ二等迄ヲ總稱シタルモノニシテ、極上トハ概略一等田ヲ指シ、上田トハ二等田

リ三等位迄、中田トハ四等ヨリ六等位迄、下田トハ七等位ヨリ十一等位迄、最下田トハ十二等位ヨリ等外二等迄ヲ指ス。然レトモ極上トハ必ずシモ文字ノ示セルカ如ク多穫ノ田地ヲ限ルニ非ラズ、寧ロ下田若クハ最下田ニ於テ多穫ノ田地ナキニシモアラズ、而シテ田地ノ等級ハ明治八年改租當時ノモノヲ踏襲セリ

(ハ) 小作料

甲、田地一反歩ノ小作料	見込反別
土地ノ等級	一、四三五、一〇五
上	二二八五、一一六、二合
	三三三二、六一二、四
	一八〇二、〇三三、三
	六七八、一〇四、八

最下中上極

備考 本表ニ掲記セシ田地ノ等級區別ハ前表ニ同シク、小作料ハ本村二十六ヶ大字ノモノヲ概略調査計上シタリ

乙、畑地一反歩ノ小作料

土地ノ等級	見込反別
上	一、〇二〇
中	八四〇
下	六〇〇
	三九一、八〇一、九合
	二一九、七二六、九
	一三八、一二七、七

(ニ) 地主ト小作人トノ收穫比較

土地ノ等級	一反歩收穫		地主ノ收穫		收穫ニ對スル地主收得ノ割合		小作人ノ收穫		收穫ニ對スル小作人收得ノ割合	
	石	匁	石	匁	石	匁	石	匁	石	匁
極上	二、六六三		一、三六〇		五、八二		一、二八三		四、一七九	
上	二、三四三		一、二四〇		五、一七		一、〇九		四、八三	
中	一、九二七		一、〇八〇		五、三六		八三七		四、六三	
下	一、七〇四		九〇〇		五、八七		八〇四		四、一八三	
最下	一、四九〇		八二〇		五、三六二		六八〇		四、六三六	
平均	一、〇三三、四夕		一、〇八三		五、五三		九四〇、四夕		四、四七	

備考 本表ニ掲記セシ田地ノ等級區別ハ、前表ニ同シク、一反歩收穫及地主ノ收穫ハ、本村二十六ヶ大字ニ於ケルモノヲ概略調査計上シタリ

(ホ) 重ナル作物收支計算

(一) (米) 作一反歩收支計算

種別	甲 收入	乙 支出	自 作	小 作
米	二、二五〇	一、一三三	二、二五〇	一、一三三
粟	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
稻	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
批	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇
合	二、八七八	二、八七八	二、八七八	二、八七八

種別	金額	備考
種子代	四〇五	種子四升五合代壹升九錢
肥料代	四、五〇〇	人糞尿百貫目此價格壹圓 大豆粕十一貫三百目此價格貳圓五拾錢 四百五拾貫五百目此價格壹圓
人夫賃	九、六五〇	男六人貳圓拾錢 女二十九人七圓貳拾五錢 馬二分五厘 此賃參拾錢
小作賃	六七二	農具損料參拾九錢 貳厘及ヒ繩俵代貳拾八錢
農具費	三、八九〇	貳圓〇貳錢 地租壹圓貳拾四錢 縣稅四拾貳錢 村稅貳拾壹錢 縣稅別割
水利費	二八〇	
協議費	六一〇	
單附金	六三二	
寄附金	五三〇	地價百圓ニ付壹圓貳拾貳錢四厘
差引	二一、一六九	
益	七、六〇九	

備考 本表ニ掲記セシ收穫ハ、平年作ノモノヲ計上シタルモノニシテ、米價ハ、昨四十三年度ニ於ケル本村相場米石代拾壹圓ヲ標準トシテ計上シタリ

種別	金額	備考
種子代	四〇五	種子四升五合代壹升九錢
肥料代	四、一〇〇	人糞尿百貫目此價格壹圓 大豆粕十一貫三百目此價格貳圓五拾錢 二百七拾貫三百目此價格六拾錢
人夫賃	九、六五〇	男六人貳圓拾錢 女二十九人七圓貳拾五錢 馬二分五厘 此賃參拾錢
小作賃	一二、一〇〇	一石一斗
農具費	六七二	全上
水利費	二八〇	全上
協議費	六一〇	全上
單附金	六三二	全上
寄附金	五三〇	全上
差引	二八、〇八九	全上
損	五七二	缺

十九

備考 本表ニ掲記セシ收穫並ニ價格ハ前表ニ同シ、然レトモ小作農ニ於テ支出ノ收入ニ伴ハサルモノハ、主トシテ米價ノ低落ナリシニ影響ス

原料種類	一反歩用量	全上ニ要スル原料ノ數量	全上價格		一年使用總量
			原量	代製費	
稻	一八、〇〇〇	一八、〇〇〇	四一四	七〇〇	二千貫目
雜草	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇		六三〇	

備考 堆肥製造ノ發達ハ本村ニ於テ見ル能ハザル所ナリ、何トナレバ本村ノ農家ハ數十年前以前ヨリ金肥ヲ施用シテ堆肥ノ何タル歟ヲ顧ミザル状態ナレバ、其製造法ノ如キ最モ不完全ニシテ原料ノ供給モ亦不十分ナリ。故ニ茲ニ特筆スルノ要ヲ見ズ

乙 堆肥舎建設ノ狀況

農家總戸數	九一二	完全	二	稍々完全	六	不完全又ハ未建設	一七二	切返シ實行戸數	二
-------	-----	----	---	------	---	----------	-----	---------	---

備考 本村ノ如キハ其使用スル肥料ノ大半ハ、金肥ニ仰クヲ以テ堆肥ノ如キ自家製造肥料ハ運々トシテ進マス、從ヒテ完全ナル堆肥舎ノ建設ヲ見ルニ至ラズ、殆ンド全部ハ未建設ノ如キ状態ナリ、故ヲ以テ切返シ實行戸數ノ如キハ九牛ノ一毛ノミ、然リ而シテ切返シ實行ニ關スル農民ノ觀念ハ、最モ薄弱ニシテ憂慮ニ堪ヘザル所ナリ

(丙) 金肥施用ノ成績

(一) 稻作

肥料ノ名稱	一反歩用量	全上價格	全上數量	全上收穫	使用法ノ概略
人糞尿	一〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	五 荷		基肥人糞尿 補肥大豆柏ハ插秧以前ニ施用ス
大豆粕	一一、三〇〇	二、五〇〇	一枚六分		基肥人糞尿 補肥大豆ハ植付後之レヲ施用ス
大豆計	一一、三〇〇	二、五〇〇	一枚六分	二、二一六	
人糞尿	一〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	五 荷		基肥人糞尿 補肥燒酎粕ハ植付以前ニ之レヲ施用ス
燒酎粕	一一、二五〇	二、五〇〇	一一、二五〇		基肥人糞尿 補肥燒酎粕ハ植付以前ニ之レヲ施用ス
燒酎計	一一、二五〇	二、五〇〇	一一、二五〇	二、七七〇	
人糞尿	一〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	五 荷		基肥人糞尿 補肥大豆柏ハ植付以前ニ之レヲ施用ス
廐肥	四六〇、〇〇〇	二、三三〇	十五駄		基肥人糞尿 補肥大豆柏ハ植付以前ニ之レヲ施用ス
大豆計	一一、三〇〇	二、五〇〇	一枚六分	二、四九三	
人糞尿	三五〇、〇〇〇	三、五〇〇	十七荷半		人糞尿ノ八分ヲ基肥トシ二分ヲ補肥トシ植付後之レヲ施用ス
燒酎計	一一、二五〇	三、五〇〇	十七荷半	一、四九六	
燒酎粕	一六、〇七〇	三、五七〇	二俵半		基肥廐肥

一 人糞尿	一、五八、五〇〇	三、三七〇	七六八、〇〇〇	一五、三六〇	七六八、〇〇〇	一五、三六〇
二 灰類			四〇、〇〇〇	五〇〇	四〇、〇〇〇	五〇〇
三 稻藁			一、三七五、五八	三〇、二六一	一、四五〇、四〇〇	三二、九〇九
四 米糠	三九、三〇〇	四、九三三	一九、二〇〇	二、四〇〇	一九、二〇〇	二、四〇〇
五 鷄糞	六、二五〇	三三三	三、七五〇	一八八	二、五〇〇	二、五〇〇
合計		三、五六六	三、七五〇	四八、七二〇	二、五〇〇	五〇、二九四
四 小作料及地代						
一 田小作料	二九一、六七〇	三、二〇八、三七〇				
二 畑小作料	二二、三三〇	一三四、四一〇				
三 宅地貸地料	二二、六五〇	一三九、一五〇				
合計	三六、五四〇	三、四八一、九四〇				
五 労働賃金						
一 日雇					二〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇
二 駄賃					五、〇〇〇	二〇、〇〇〇
合計					二五、〇〇〇	五〇、〇〇〇
六 利子						
一 公債利子		四、〇〇〇			一、〇〇〇	
二 株券利子		一三四、三三五				
三 貸金利子		七〇、〇〇〇				
四 貯蓄利子		八、〇〇〇			四、〇〇〇	

合計 二六、三五五
七 雑収入 五、〇〇〇

備考 本表ニ於テ全ク土地ヲ有セザル小作人ノ一家經濟ヲ計上スルニ當リテハ、本村二十六ヶ大字毎ニ同程度ノモノ五名位宛ヲ選抜シテ之レヲ標準トシタリ。而シテ地主ニシテ自ラ所有地ヲ耕作スルモノ即チ本表ニ於テ自作農ト稱スルモノハ、各大字ヲ通シテ一名乃至二名ノ候補者ヲ選定シテ之レヲ調査セリ、次ニ大地主ニ於テハ本村ノ地價八千圓ヨリ壹萬圓以上ヲ所有スルモノ七名ノ一家經濟ヲ平均シテ之レヲ計上シタリ、而シテ又自作農ノ部ニ於テ貸金利子ヲ計上セザルハ、其半面ニ於テ之レト同額ノ借金利子ヲ支拂フヲ以テ全然之レヲ扣除シタリ

乙、支出

種別	金額	地主 自ラ所有地ヲ耕作スル	要金額	全ク土地ヲ有セザル小作人	要金額
一 公費					
一 地租	五七六、二九〇	田畑雜地租 五〇一、二六〇 宅地租 三七、〇三〇	二五、一五〇		
二 所得稅	一四三、二七〇				
三 縣稅	四〇五、八三〇	地價割 三四〇、七九〇 所得稅附加稅 一一、四二〇 戶別割 五三、六二〇	一八、六二〇	地價割 一四、五〇〇 戶別割 三、三六〇 荷車稅 七五〇	一、二五〇 戶別割 七五〇〇
四 町村稅	三四、三三五	地價割 二六、九四五 戶別割 一八七、二三〇	一四、五七〇	地價割 四、九八五 戶別割 九、五六五	一、四〇〇 戶別割

五 水利費	七、二五五	地價割地價百圓二付 六四五	二、九九〇	地價割
六 協議費	一七〇、三五五	地價割地價百圓二付 一、四二二	七、二九〇	地價割
七 單戶割	六三二		六三二	
計	一、六七三、七七		六九、二四二	
二 種苗費	一、〇三三	蔬菜種苗代	五、八三三	水稻種子代四圓四五五 蔬菜種苗代壹圓三七七
三 肥料費	三、三三〇	畑作肥料	五、四三六	稻作肥料 五十圓 畑作肥料 六圓四六
四 農具費		農具購入費	一、五七一	
二 農具修繕費	一、二〇〇	農具償還費	一、六七五	
計	一、二〇〇		五、六〇一	
五 雇人給料		一年 雇	五、〇六〇	
二 日 雇	四、二五〇	下男給貳拾五圓下女給拾八圓子守給九圓〇六	四、二〇〇	代播馬二日此賃二、四〇〇 日雇六人分賃 一、八〇〇
計	五、三〇〇		四、二〇〇	二、四〇〇 代播馬二日分賃 二、四〇〇
六 小作料及地代		一 田小作料		一四、六二五 米十二石八斗七升 五合代石代拾壹圓
二 畑小作料				四、二〇九 米三斗八升二合六勺代

三 宅地小作料				
四 請山小作料				
計			三三〇	米三升代
七 家畜飼料			三三〇	一五三、六八八
一 家 禽			五七六	三、八六四
八 生 計 費				
一 飯 米	二八、〇九〇	粳米十四石七斗七升三合 糯米三石三斗八升六合代	一〇六、六〇〇	粳米七石四斗一升代 糯米一石代
二 蔬 菜	二〇、四三六		二二、四八三	一〇六、六〇〇 粳米七石四斗一升代 一八、五九七 糯米一石代
三 魚 類	九七、五四〇		一〇、〇〇〇	七、〇〇〇
四 味 噌	四〇、三三〇		一八、一一〇	一六、四六五
五 砂 糖	一一、七〇〇		一、〇〇〇	九〇〇
六 茶 菓	四一、三七〇		三、二〇〇	二、四六〇
七 酒 物	七、三三〇		二、一〇〇	八、〇七三
八 煙 草	九、九三〇		六、五〇〇	六、〇〇〇
九 麵 類	五、〇〇〇		一、〇〇〇	一、〇〇〇
〇 食 用 雜 品	三、四九〇	雜品代一四、七四〇 牛乳代一八、七五〇〇	八〇〇	五〇〇
二 被 服 費	二五、三六〇		一〇、〇〇〇	九、五〇〇
三 住 宅 費	二七、七九〇		三、五〇〇	三、五〇〇
三 常 用 雜 品	一四、七三〇		一、〇〇〇	五〇〇
計	一、〇八七、九六六		一、九五、二九三	一八一、〇九五

種別	作付	反別	一反歩收穫	收穫高	單價	價格
籾米	八100,015.6合	二1,137.4	一七,四七九.九三九勺	二1,000	一,九二,二七九.三九	
麥	104,113	二,005.4	二,152,015.0	三,000	二五,八二四,300	
麥	九0,五二,一	一,三九七	一六,一三三.0	四,八00	六0五,四三八	
麥	七七,五二,九	八二九七	六四,三三五	八,000	五二四,七00	
麥	二八四,010.八	一,三五二五	三八四,一六八.五	10,000	三,八四一,六八五	
豆	三三,八01.七	八八七九	二0八,四九.5	10,500	二,一八九,一六六	
豆	一一,二0九.五	七五三八	九,二11.0	10,000	九二,110	
豆	一三九,四00	五九七,000	八三,三三七.九00	10,000	一,六六四,七五八	
菜	二四,八二,九合	二二八,四一五	五,六七四,五00	110	六八0,九四0	
菜	五0,011.三	五0四,二六七	二五,三二六,二00	0.60	一,五二八,九七二	
菜	二0,六0八.七	六四三,050	一三,二六五,四00	0.40	五三0,六二六	
菜	二二,八01.二	五二七,四八0	一一,三一九,七00	0.50	六一五,九八五	
菜	二,011	一九五,五10	三九五,000	110	四七,四00	
菜	一八,三0九.六	三四七,六二0	六,三七二,五00	110	七六四,七00	
菜	三,六二,五	四九三,二10	一,八二二,100	0.35	六三,四二七	
菜	八六,七01.三	五五0,六四0	四七,七四二,六00	0.30	一,四三二,二七八	
菜	二,六二六.六	三七四,五八0	九九四,五00	100	九九,四50	
菜	三二,五0,七	三四一,110	一一,0一九,五00	150	一,六六六,四四	
菜	一一,九二五.五	三0五,110	二,六四六,六00	130	四七四,0五八	
菜	101,五二七.二	三三0,七六六	三,五九一,八00	0.55	一,八四七,五四九	
菜	一,九二八.一	一五九,四四0	三二二,五00	三八0	一,二八,七五0	

種別	五年計	計		非勞働者	勞働者	國家計	貯蓄金	貸付金
		男	女					
一農	三	二	一	四	三	四	三	一
種別	三	二	一	四	三	四	三	一
作付	三	二	一	四	三	四	三	一
反別	三	二	一	四	三	四	三	一
一反歩收穫	三	二	一	四	三	四	三	一
收穫高	三	二	一	四	三	四	三	一
單價	三	二	一	四	三	四	三	一
價格	三	二	一	四	三	四	三	一

備考 本表ニ掲記セシ大地主ノ資産程度ハ七名ノ資産ヲ標準トシテ計上セシガ、自作農並ニ小作農ナルモノハ其資産ノ内容複雑ニシテ、一々之レカ平均ヲ求ムル能ハス、故ニ概略如斯モノト思惟セリ

(ロ) 本村ノ經濟
甲、歳入
(い) 本村生産額

七 六
生 產 類 總 計
雜 蠶 養 合 米 稻
品 類 蠶 計 糠 葉

稻	1,111,056,630	36	24,665,246
米	16,150,800	150	2,437,610
合 計	2,331,680,830		39,904,340
蠶	139,450		475,926
雜 品			
生 產 類 總 計	2,471,270,280		40,856,266

備考

本表ニ掲記セシ農産物ハ、前段之レヲ略述セシカ如ク、本村ニ於ケル重要農産物ニシテ、既往將來ヲ通シテ本村農家ノ經濟ト休戚ヲ共ニスルモノナリ。林産物ノ如キハ、本村ニハ山林ヲ有セサルヲ以テ、其生産額ハ至リテ僅少ナリ、唯自家用トセンカ爲、小作料ヲ支拂ヒテ以テ其燃料ノ供給ヲ仰クノミ。水産物ニ至リテハ兩川ヲ有スルモ特殊ノ魚族棲息スルナク、河川溝渠ニ於ケル雜魚ヲ捕獲シタルモノヲ計上シタルニ過ギス。家禽畜類ニ至リテハ、其之レヲ飼養スル農家僅少ナルノミナラス、自家ノ農業勞力ニ供給シ若クハ肥料ノ製造ニ裨補スルモノナルヲ以テ、生産額トシテ之レヲ計上スルコトヲ得ズ。

肥料ハ、本村ニ於テハ其施用量ノ大部分ハ之レヲ金肥ニ仰ガザル可ラス、故ニ自家生産ノ如キ肥料ハ計上スルニ足ルモノナク、強テ之レヲ掲記セントスレバ厩肥ノ如キ或ハ人糞尿ノ如キ若クハ又灰類ノ如キヲ生産スルニ過キス。雜品類トシテハ特殊ノモノナシ。元來本村ノ如キハ米作ヲ以テ本業ト爲スヲ以テ、其副業ハ比較的發達セス。在來ヨリ之レヲ營メル蠶細工ノ如キモノアルノミ。蠶業ノ如キハ本村ヲ通シテ二三ヶ字ニ之レヲ飼養スルモノ四五戸ニ過キス

種 田 畑 宅 小

(ろ) 本村民ガ他町村ヨリ得ヘキ收入
小作賃地段別

種 田	311,011	29,144	936
畑	5,823	3,025,564	1
宅 地	11,729,68	25,931	45
小 計	379,704,8	285,251	1,301
		168,881	14,331
		3,322,448	875,5
		3,656,88	9,631

備考

本表ニ掲記セシ小作料ハ一様ナル能ハズ、何トナレバ本村民ガ他町村ニ於テ有スル土地ハ、本郡名香山、關山、中郷、矢代ノ諸村及ヒ新井、高田ノ兩町水上、板倉、鳥坂、三郷、斐太、津有、金谷、高士、里五十公野ノ數十ヶ村ニ跨カレルヲ以テ、適宜其小作料ヲ見積リテ之レヲ計上シタリ

(は) 貯金其他ノ利子

種 別	元 金	利 子	元 利 合 計 金
郵 便 貯 金	4,666,340	18,385	4,854,75
銀 行 預 金	21,055,710	755,210	22,810,940
公 債	16,130,000	66,800	16,756,800
有 擔 保 貸 附 式	1,360,400	25,690	1,486,090
	119,451,500	10,848,435	130,300,935

種別
 國庫交付金
 縣稅交付金
 土木費縣補助
 教員住宅料
 授業料
 豫知スベカラシム收入
 農作物拂代
 不用品拂代
 赤十字社
 釀金手数料
 建物貸附料
 貸附金利息
 預金利息
 株券利息
 村有蓄積金利息
 十ヶ村水利組合費
 蓄積金利息

金額
 一六二、七四〇
 一二九、八五〇
 一、〇一七、〇〇〇
 二一、一五〇
 七四、〇七〇
 九四、六一〇
 五〇〇
 三二、八五〇
 二一、七二〇
 六、〇〇〇
 一二五、六九〇
 一、一八〇
 二七四、四〇〇
 八三、〇九〇
 五、六〇〇

計 七五八
 備考 本表ニ掲記セシ以外ニハ、他町村民ヨリ收入スベキ税目ヲ見ズ
 (ち) 雑収入
 二二、一〇二、九一四

種別
 田租
 畑租及雜租
 宅地租
 縣稅
 村稅
 水費
 協議費

員數
 一三〇
 七七
 三一
 一三〇
 一三〇
 一三〇
 一三〇

金額
 五、一二〇、八七〇
 二二五、四二〇
 一〇九、六七〇
 三、一九四、九三五
 一、三一七、一六五
 五七一、三五五
 一、五六三、四九九

(こ) 他町村民ヨリ收入スヘキ諸稅

備考 本表ニ掲記セシ雜トハ、日雇取、運送挽、建具職、理髮職、紺屋職、製糸工女、ボタン工女等ノ如キモノヲ指ス
 一、二七
 四
 九
 九
 一六
 二〇

人石雜木桶
 力工 挽 屋

全 全 全 全 全

一、〇〇〇
 九〇〇
 三〇〇
 五〇〇
 六〇〇

四十二
 五二、〇〇〇
 一、〇五六、五〇〇
 二九、一四、〇八五
 一、〇七、三〇〇
 五二〇、〇〇〇

尙武會蓄積金利息	六、九四五
戶籍手數料	五六、九〇〇
督促手數料	一〇、〇〇〇
手數料	一三、五九〇
計	二、一三七、八八五

收入總計

四一四、四六一、八六四

備考 本表ニ掲記セシ不用品拂代トハ、主トシテ學校糞尿及紙屑拂下代ヲ指シ、豫知スベカラザル收入
トハ、銀行當座預金利息ヲ云フ

乙歳出

(一) 公費

種別	金額	摘要
地租 本村ノ土地ニ對スル地租總額	二二、〇七〇、五八〇	
内本村以ノ負擔額	一六、六一四、六二〇	
所得稅	三、〇三三、九五〇	
營業稅	五三九、八六〇	
所稅	一五、四八四、〇六〇	
縣稅	一二、七六三、五四〇	
村稅		

生産額總計、他町村ヨリ得ベキ收入、貯金其他ノ利子及年金以下教員退隱料迄、五項目、商業純益、報酬及給料、勞働利益、他町村民ヨリ收入スベキ諸稅、雜收入

協議費	六、二四六、五四七
單戶割費	六一一、四四三
水利費	二、一九二、二三〇
赤十字社員年費金	五四三、〇〇〇
愛國婦人會年費金	四三、〇〇〇
本村尙武會費	二五四、八〇〇
本村農會費	
小計	五八、三二七、〇五〇
本村民ガ他町村ヘ納入スル地租	六二二、二三八
縣稅及全附加稅	三六六、二四九
町村稅	一二八、二一〇
協議費	一六二、九六三
水利費	六五、九三四
小計	一、三四五、五九四
合・小計	五九、六七二、六四四
(二) 本村消費額	

會費五百五拾圓ハ全部村費補助ニ付之レヲ除ク
 田租五五六圓六一〇 畑租貳參圓九三五
 宅地租四〇圓六六五 雜地租壹圓五二八
 田畑租壹圓ニ付六拾壹錢二六 此縣稅付加稅參
 百五拾五圓二三六 宅地租壹圓ニ付貳拾四錢八厘
 九三四 此付加稅拾圓拾貳錢參厘 雜租壹圓ニ
 付五拾壹錢六九三 此付加稅七拾九錢
 地租壹圓ニ付貳拾壹錢宅地租壹圓ニ付九錢
 地價百圓ニ付壹圓四拾貳錢壹厘 地價壹萬壹千
 四百六拾八圓拾九錢ニ對スル町村稅
 地價百圓ニ付平均六拾四錢五二
 田地價壹萬貳百拾九圓拾錢ニ對スル分
 但本村民ノ負擔スル公費全部

品名	一戸消費	消費戸數	一ヶ月消費額	單價	價額
食米	七、六〇九、五〇	一〇、七	七、八二五、〇二七	但白米 二、四、五〇〇	九七、六八七、八三八
粳米	九、五〇一、九〇			但全	一七、〇五七、四〇四
糯米	一、一八六、四〇		一、二二八、三八六		
大豆	一、六九六、六〇		一、七四、五四八、五〇	一〇、〇〇〇	一、七四五、四八五
小豆	一、六九六、六〇		一、八六、六二、三	一〇、五〇〇	一、九九九、四二九
蘿蔔	九、四四五、〇〇		九三、八九四、五五〇	但一貫目ニ付 〇、〇〇〇	一、八七七、八九一
茄子	一、八二九、九〇		三二、六八四、七三〇	〇、六〇	一、三六一、〇八四
胡瓜	二、二三五、四八九		二、五四九、一五〇	〇、〇〇	五〇一、九六六
其他野菜	九〇、三三五、三六三		九二、七五二、七五〇	〇、四〇	三、七〇、一一〇
醬油	石〇九九、三〇		八三六、九三〇、五〇	但一升ニ付 二、〇〇〇	二、〇三八、三三五
食品	石〇九九、三〇				
味噌	四、一三七、二四四	一、〇七	四二、四八七、二七〇	但一貫目ニ付 四、三五〇	二、四、八七〇、五四五
酒	八、〇七三、七〇		二、三六、八九六	但一升ニ付 三、五〇	八、二九一、四九九

品名	一戸消費	消費戸數	一ヶ月消費額	單價	價額
菓子	三、四三二、二四〇	九九九	三、三四九、九七〇	但一斤ニ付 六、四〇〇	二、一四三、八三五
砂糖	二、二三四、一〇七	八〇六	一、七九二、四二五	—	一、七九二、四二五
魚類	六、〇三二、一三七	一、〇七	六、一九七、	但一斤ニ付 〇、三三〇	一、三六三、三三〇
牛乳	四、五五五、一八六	七四	三、三八八、	但一斤ニ付 四、〇〇〇	一、三五〇、九〇〇
鶏肉	二、〇三二、〇三二	九八	一九九、〇五〇	但一貫目ニ付 一、〇〇〇	一九九、〇五〇
卵	三、八七九、九七三	一、一〇	三、九、九五五	但一ケニ付 〇、〇五	九、九八、八七六
果實	四、四八〇、一、二二〇	全	四、五九九、二六〇	但一貫目ニ付 二、五〇〇	一、一四九、八二五
烟草	八、九〇〇、四、六七八	八天	七、三五、五二〇	但四十目ニ付 三、〇〇〇	五、五二六、三五〇
鹽	一〇、六七六、〇三六	一、〇七	一〇九、六四九	但一斤ニ付 〇、三九	三、一七九、〇九六
大豆	五、五七〇、七三六	七〇七	一、七五、〇三二	但一升ニ付 〇、四八	八四〇、一〇六
小麦	一、七三六、二七六	二七〇	五九、九六九	全	四七九、七五二

人糞尿	二、八二一	一、〇七一	一、三三五、六九九、六〇〇	全	一三、一五六、九九六
藁灰	三九八	全	三二、六八三、二〇〇	全	四〇八、五四〇
大豆粕	一八、〇〇八	五八九	六、八四三、〇〇〇	但一枚	一〇、六〇六、八四八
燒酎粕	一〇、六九一	一三九	一四、八六一、〇五〇	但一貫目	一、四八六、一〇五
大豆	一、三六八 一、三六八 一、三六八	五三三	七〇、二七九	但一升	七、〇一七、九九〇
米糠	二、四二八〇 三、六四一	一、〇七	二四、九三三、七一〇	但一貫目	三、七四〇、〇五六
人造肥料	四、〇四五	二〇	五〇五、五六〇	全	八〇、八九〇
醬油粕	五、九三八	二二	九五〇、〇〇〇	全	七、一、二五〇
餵粕	二、五七五	三三	一、三〇八、四七〇	全	一五〇、四七四
油粕	五、三四〇	一八	二九一、二四〇	全	九六、一一〇
糞糞	四八	三三	二、六六六、三〇〇	全	一三三、八二五
灰類	四七	九五六	三二、六三三、二〇〇	全	四〇八、五四〇
毛髮肥料	八、三〇〇	二	一、六六〇	四十九	一六、六〇〇

南瓜	六、二七五 一、五一	一、〇七	六、四四三、七五〇	但一貫目二付	二五七、七五〇
馬鈴薯	二、四九三、四 一、四九六	全	二五、六一〇、四〇〇	全	一、五三六、六二四
牛乳	五、一九五 九、七四九	六八	一、三、二五六、二	但一升	六六二、九一〇
小計	一九一、九九九	二、九二四	—	—	一七六、九五五、四二一
衣服器具	一七、〇九〇	一、〇七	一七、五五一、三九三	—	一七、五五一、三九三
服裝費	一四、〇〇九	八三八	一一、七三九、六〇五	—	一一、七三九、六〇〇
家屋	四、三四三	七五四	三、二七四、六五〇	—	三、二七四、六五五
小計	一、六七六	八七五	一、四六六、五八〇	—	一、四六六、五八〇
雜品類	三、九六 一一、六四一 三、五四三	九二 一〇七	三、五八〇、九三 一一、九五五、八九四	—	三、五八〇、九三 一一、九五五、八九四
薪炭	一九、二二	全	三、六三八、七五五	—	三、六三八、七五五
小計	三、二〇五九	二、九六六	一九、一七五、五七一	但一貫目	一九、一七五、五七一
肥料	—	—	—	—	—
四 厩肥	—	—	—	但一貫目	一、一六〇、五四〇

五 小計

稻	八、一四〇	九二二	三三七、四五五、一〇〇	但一貫目	七、四三、五七四
小計	一、三五、四八二	六、九三〇	—	—	四五、九五六、三三〇
家計	—	—	—	—	—
通費	一、〇〇八	一、〇一七	一、〇三五、〇七〇	—	一、〇三五、〇七〇
醫藥費	一〇、一三〇	全	一〇、四〇三、四四五	—	一〇、四〇三、四四五
交際費	五、九二五	全	六、〇七四、八六六	—	六、〇七四、八六六
祭祀費	六、一七七	全	六、三三三、二七三	—	六、三三三、二七三
圖書費	四、二七七	四四四	一、八九九、〇二五	—	一、八九九、〇二五
教育費	二、七五〇	六五四	八、三四一、〇〇〇	—	八、三四一、〇〇〇
寄附金	五、二四四	一、〇七七	五、三八六、〇五五	—	五、三八六、〇五五
雜費	二、五五四	一、〇一七	二、九〇三、六〇六	—	二、九〇三、六〇六
保費	三、一〇一	一〇〇	二、六四〇、三二五	—	二、六四〇、三二五
小計	七一、二七二	七、四六〇	五五、〇六六、六二五	—	五五、〇六六、六二五

五十

消費額合計

備考 本表ニ掲記セシ糯米ハ、本村ニ生産シタルモノヲ消費シタルモノノミニアラズ、稀ニハ他地方ヨリ買入ル、モアリ。然レドモ之レ亦消費シタルモノナルヲ以テ、本項ニ計上シタリ。其他ノ野菜トハ、菜豆、越瓜、葱、蕪菁、漬菜、甘藍、里芋、長芋、甜瓜、扇芋、百合、冬瓜、扁蒲、蓮根胡麻等ノ如キヲ云フ
入糞尿購入價格ハ、運賃ヲ見積ラス買入原價ノミヲ計上シタリ。醫藥費中ニハ、藥價並ニ醫師ノ

醫費、九一

四、七四〇

三三、一四一、一五一

往診料、車馬賃ヲ含蓄シ。牛肉費ニハ凡テ獸肉類ヲ計上セリ。交際費中ニハ外來客ノ賄費及ヒ外出シテ知人ト交際上ニ要シタル費用ヲ計上シ。祭祀費中ニハ春秋兩度ノ祭典費法會佛事ノ費用ヲ計上シタリ。服裝費中ニハ衣服及履物冠物等ヲ算入シタリ、但野笠、蓑、等ノ如キモノハ農具トシテ取扱ヒタリ。家屋費中ニハ、家屋ノ修繕費一式、家屋ノ改新築土藏其他ノ新改築ノ如キ臨時費ヲ算入シタリ。小間物中ニハ婦人常用ノ櫛笄小兒ノ玩具類等ヲ計上シ。燈料中ニハ石油、蠟燭、菜油、寸燐、附木類等ヲ算入シタリ。圖書費中ニハ書籍、雜誌、新聞、印刷物等ヲ計上セリ。寄附金中ニハ社寺其他公共慈善の一切ノ寄附金ヲ算入シ。雜費中ニハ以上列記ノ科目以外ノ諸經費ヲ計上シタリ。然リ而シテ冠婚ノ如キ臨時費亦此ノ中ニ含蓄ス。保養費中ニハ入湯費及轉地旅行費ヲ算入シタリ

(三) 本村民ガ他町村ニ拂フベキ支出額

一、小作料及地代	反	別	數	量	單位
田	二五	天	三二	二、六五〇、二九九	二、四九七
畑	一四	八	二、八三三、二〇九	一、五二七	—
宅地	—	—	一、三三〇、四八二	八、四九二	—
小計	—	—	一、一三〇、八六二	七二	—
小計	—	—	四、四五、九六三	一〇、三四〇〇	—
小計	—	—	四一、四五三	九四〇〇	—
小計	—	—	三三、八五二、七六四	三三、一一九	—
小計	—	—	二、九六六、五二四	二、八六六	—
負債利息	元	金	—	—	元利息合計
元金	—	—	—	—	五十一

丙 歲入出總額比較
(い) 歲入

科 目
本村生産額

金額	摘要
五〇四、一八三、三三八	稻米、糯米及ヒ蔬菜生産總價格
二三八、〇九五、七九五	米糠自家生産價格
二、四三七、六二〇	果樹生産價格
九一九、八五二	蠶收繭價格
四七五、九二六	鷄卵生産價格
一、八一八、三五〇	鷄糞生産價格
一〇二、〇一五	人糞尿自家生産價格
一二、二四九、一七六	藥生産價格
二四、六八五、二四六	灰類生産價格
四〇五、二五〇	糞細工賣上價格
一八、二四〇、〇〇〇	柴生産價格
四、一二一、七七五	割木生産價格
四三五、六〇〇	雜魚賣上價格
一七一、七〇〇	廐肥生産價格
二五、〇三三	他町村民ヨリ納入スル縣稅附加稅
八三、九六三、八〇三	
三、一九四、九三五	

要

本村收入額

一、三一七、一六五	全上 村稅
一、五六三、四九九	全上 協議費
五七一、三五五	全上 水利費
一六二、七四〇	國庫交附金
一二九、八五〇	縣稅交附金
一、〇一七、〇〇〇	土木費縣補助
二一、一五〇	教員住宅料
七四、〇七〇	本村尋常高等小學校授業料
一、〇〇〇、〇〇〇	明治三十七八年戰役戰功年金
九五三、〇〇〇	軍人恩給金
一五、〇〇〇	教員遺族扶助料
一一二、〇〇〇	全上 退隱料
一、一七五、〇〇〇	軍人遺族扶助料
六、〇〇〇	建物貸付料
二一、七二〇	赤十字社々員醜金手數料
三二、八五〇	不用品拂代
九四、六一〇	豫知スヘカラサル收入
五〇〇	農作物拂代
八三、〇九〇	本村蓄積基本財産ヨリ生スル利子
五、六〇〇	拾ヶ村用水組合蓄積金利子
六、九四五	本村尙武會蓄積金利子

公科合
(ろ)計
費目歳計
出

二七四、四〇〇	本村有銀行株券利子
一、一八〇	本村有銀行預金利子
一二五、六九〇	學校基本金貸附金利子
五六、九〇〇	戶籍手數料
一〇、〇〇〇	督促手數料
一三、五九〇	手數料
三、六五六、八一八	本村民ガ他町村ニ於テ所有スル田畑宅地小作料
八、九三七、五三〇	他町村ヨリ得ベキ本村民ガ教員、官吏、醫師、僧侶、神官、雜等ノ報酬給料
三八、三六七、八〇九	他町村ヨリ得ベキ本村民ノ被雇、大工、其他諸職工勞働賃
七、二四〇、〇〇二	他町村民ヨリ得ベキ本村民ノ商業利益
六二六、八〇〇	本村民ノ所有スル公債利子
一〇、五六一、四九〇	全上 株券利子
六六九、四三〇	全上 銀行貯金利子
一八八、三八五	全上 郵便貯金利子
一、六七五、七〇〇	本村民ガ他町村民ニ貸付金利子
三八八、一四七、一四一	

金額 五六、七六三、五五一
 本村民ガ本村所有地ニ對スル公租公課總額

摘要

本村民ガ他町村へ
納入スル公費

一六、六一四、六二〇	全上 地租
三、〇三三、九五〇	全上 所得稅
五三九、八六〇	全上 營業稅
一五、四八四、〇六〇	全上 縣稅
一二、七六三、五四〇	全上 村稅
四、六八三、〇四八	全上 協議費
二、一九二、二三〇	全上 水利費
六一一、四四三	全上 單戶割
五四三、〇〇〇	赤十字社々員年醜金
四三、〇〇〇	愛國婦人會員年醜金
二五四、八〇〇	尙武會々員割
一、三四五、五九四	本村農會費五百五拾圓全部村稅ヨリ補助ニ付除ク

本村消費額

六二二、二三八	租 本村民ガ他町村ニ於テ所有スル土地ニ對スル地
三六六、二四九	全上 縣稅附加稅
一二八、二一〇	全上 町村稅
一六二、九六三	全上 協議費
六五、九三四	全上 水利費
三三三、一四八、一五五	

本村支出額

食品消費額	一七八、九五五、四一一
衣類器具住居費	三四、〇三二、二二八
雜品類	一九、一七五、五七一
肥料	四五、九五八、三三〇
家政費	五五、〇二六、六一五
	五四、二二四、一七九
	三二、八五一、七六四
	八一五、五九五
	七、六二二、八〇〇
	一一、五一二、五〇〇
	一、四二一、五二〇
	四四五、四八一、四七九
	五七、三三四、三三八

本村民ガ他町村ニ支拂フ田畑宅地小作料
 全上 受山小作料
 本村民ガ他町村ヘ支拂フ負債利子
 本村民ガ所有スル株券九百二十一株ニ對スル第一回拂込金
 本村民ガ他町村民所有ノ田畑買受額但本村民ガ他町村民ニ賣渡シタル田畑價格差引支出額
 歳入不足

合 計

(は) 金融ノ狀況

甲 本村民ノ負債

區別	貸付金額	利子	貸付期間	區別	借入金額	利子	借入期間
登記	九、四九、〇〇〇	九分	一ケ年乃至	登記	二、三三、〇〇〇	九分	一ケ年乃至
		九分	二ケ年			四分	二ケ年
						四分	二ケ年

附

借

入

内貨村内	四、七五、〇〇〇	九分全
差引	四、七四、〇〇〇	一割全
村外貸付	四、〇一、四〇〇	一割全
信 用	四〇、一三、四〇〇	七分六ケ月乃至
内貨村内	二、〇九、四〇〇	五分八十二ケ月
差引	一、八五、九〇〇	六分全
村外貸付	一三、〇三、〇〇〇	一割全
村外貸付	一六、七五、〇〇〇	一割
合 計	一六、七五、〇〇〇	一割

内村内借	五、八七、四〇〇	五分全
差引	三、四九、六〇〇	一割全
村外借入	二、三三、〇〇〇	一割全
信 用	六五、九四、〇〇〇	九分六ケ月乃至
内村内借	一三、一八、六〇〇	九分七三
差引	五、七六、四〇〇	一割全
村外借入	五、二五、八四〇	一割全
村外借入	一六、七五、〇〇〇	一割
合 計	一六、七五、〇〇〇	一割

備考

本表ニ掲記セシ本村民ノ貸借對照ヲ調査スルニ當リ、一般ニ貸附金高ヲ實査スルニ實際ト齟齬スルヲ免レズ。何トナレバ村民ノ之レ等債權ニ關スル觀念ハ、實査委員ノ觀念ト一致スル能ハズ。而シテ又債務ノ如キニ至リテハ、之レ亦明了ヲ缺キ、一朝一夕ニシテ正確ナル事實ヲ統計スルヲ得ザルハ頗ル遺憾ニ堪ヘザル所ナリ。然リ而シテ本村民ノ他町村民ニ對スル債權ノ如キハ、又如上ノ例ニ洩レズ。故ヲ以テ本項ハ推定調査ニ因レルモノナリ。

登記並ニ信用借入ニ於テハ、其借入先ハ主トシテ新井、高田、直江津ノ三ケ町ニシテ、重ニ銀行若クハ金貸業者ヨリ之レヲ借入レ、其之レヲ需用スル資金ハ、大地主ニ於テ其大半家政費ニ之レヲ償ヒ、自作農若クハ小作農ニ於テハ、土地買入及ヒ農業上ニ要スル肥料購入費ニ用キルモノ、如シ。

本村ニ雇入ル
、モノ
秋期 自十二月
冬季 自十一月
至三月

計
差
引

一、九二七
一、八九〇
七、六二八
七九、四五五
二〇、二六五
一五、三三六
八、五〇八
四、〇五〇
五、九四〇
二七、八九三
六四、一四九、五

備考 本表ニ於テ本村内ニ雇ハル、モノ、春秋ニ於テ最モ多シ。春季ニ於テハ田打、代掻。夏季ニ於テハ
挿秧、除草。秋季ニ於テハ稻刈、粃摺等ニ使用セラル
本村内ヨリ他町村ニ雇ハル、モノニ於テハ、前段ニ同シク何レモ農業ニ使用セラル
他町村ヨリ本村ニ雇入ル、モノハ、秋女ト稱シテ雇入ル、モノ最夥ク、次イテ春季ニ於テスルモノ
亦女子ニ多シ
本村内ノ勞力ヲ調査スルニ、女子ヨリモ男子ハ本村内ニ於テハ其勞力ノ供給少シト雖モ、他町村ノ
需用之レニ反シテ多ク、差引スルニ農業ノ勞力ハ餘リアリテ他町村ニ供給スル状態ナリ

甲、日雇賃金
(二) 雇人ノ賃金

春季 自四月
夏季 自七月
至九月

男一人 賃金
女一人 賃金
四〇〇 月二五〇
三二〇 二〇〇

備考
但雇主ニ於テ二飯賄
但全上

秋季 自十二月
冬季 自十一月
至三月

全 賃金
全 賃金
四〇〇 二五〇
三〇〇 一八〇

備考
但全上

備考 本村ノ如キ冬季積雪多キ地方ナルヲ以テ、該季ニ於ケル賃金ハ一般低廉ナリト雖モ、本表ニ掲記セ
シ賃銀ノ如キハ肥料ノ運搬等ニ雇入ル、モノナリ

(乙) 年雇男ノ給金
別 人 員

一ヶ年ノ給金
四〇、〇〇〇

摘

要

最 普 最 區
低 通 高

一 二 五
一 二

一ヶ年ノ給金
二七、〇〇〇

摘

要

(丙) 年雇女ノ給金
別 人 員

一ヶ年ノ給金
二四、〇〇〇

摘

要

最 普 最 區
低 通 高

五 二 六
四 五 六

一ヶ年ノ給金
一五、〇〇〇

摘

要

第十四 現住人口

一、職業別
農工商雜

兼業
農工商雜

無職合計

男	一、〇三〇	二、二八〇	一、五〇〇	一、〇九〇	三、〇四〇	六十八
女	一、五七三	二、四一八	一、八五〇	一、〇九〇	三、〇四〇	
合計	二、五五五	二、五五五	二、五五五	二、五五五	六、一六二	

備考 本表ニ掲記セシ職業別ハ、戸主非戸主ヲ問ヘズ、人口其モノニヨリテ直チニ職業別トナシタルモノニシテ、工業ノ多キハ一家ノ經濟ヲ維持スルモノニアラズト雖モ、其業ニヨリテ糊口スルモノハ悉ク之ノ部ニ算入シタリ。雜トハ公吏、僧侶、神官、醫師、教員、官吏等ノ如ク農業ニ直接關係セズシテ専門的ノ業務ノモノヲ指ス。其下欄ニ於テ兼業中ノ雜トハ、一定ノ職業ヲ有スルニアラズシテ數多ノ職業ニ依リテ生計ヲ營ムモノヲ云フ。無職トハ主トシテ兒童、學生、老人及ヒ大地主若クハ農業ヲ營マザル地主ヲ指ス、而シテ雇人モ亦本表中ニ算入シタリ

二、年 齡 別

家 族	十七才以下		十八才乃至五十五才		五十六才以上		合 計
	男	女	男	女	男	女	
人	一、二六八	一、二五九	一、三六八	一、四四八	一、三三三	一、四八八	二、九八七
合 計	一、二六八	一、二五九	一、三六八	一、四四八	一、三三三	一、四八八	三、〇五三
内 務 員	一、二六八	一、二五九	一、三六八	一、四四八	一、三三三	一、四八八	三、〇五三
事 務 員	一、二六八	一、二五九	一、三六八	一、四四八	一、三三三	一、四八八	三、〇五三
備 考	本表掲記ノ年齢ハ、戸籍ニ依ラズ凡テ四十三年度ノ算年ヲ用ヒタリ。労働ニ従事スル人員中ニハ、老幼ノ者ニシテ炊事若クハ子守ヲ担任シ一家生活ヲ助クルモノハ其數ニ算入シタリ						

第十五 一ケ年間労働日數

自家ノ農業ニ従事スル日數	十七才以下		十八才乃至五十五才		五十六才以上		合 計
	男	女	男	女	男	女	
日備雇人日數	四九七	一六	六、一〇一、五	二、五八八	一〇五	一六	六、九〇三、五
計	二、六六六	二、二一七	一、六四、三三、五	四九、四八、五	三三、三三三	三三、三三三	二、〇〇、一七、五
自家ニ於テ農業以外ニ従事スル日數	五、九四一	二、八二六	一、〇三、〇五三	二、四、二一七	一、九、五七〇	三、四、六六一	二、八、五五五
他家ニ被雇日數	四、六九四	四、六九	八、六六一	二、〇、四四	七、一八四	九、〇三	九、七三九
合 計	二、三、〇〇一	二、五、六三三	二、五、四、四六、五	二、九、三、六〇九、五	六、〇、一、二七	七、〇、〇八六	四、三、七、五五、五
備 考	本表ニ掲記セシ自家ノ農業ニ従事スル日數トハ、之レヲ廣義ニ解シテ、農馬ノ飼養ヨリ自家ノ農業ニ施用スル肥料ヲ運搬スル日數及ヒ冬季間自家農業用ノ糞仕事ヲ爲ス日數モ亦之レヲ含蓄ス。自家ニ於テ農業以外ニ従事スル日數トハ、男子ニ於テハ、山稼、日雇取、家政上ニ要スル雜務ニ從ヒタル日數、及ヒ販賣ノ糞細工製造日數ヲ計上シ、女子ニ於テハ、炊事、洗濯、掃除、裁縫、パタン、子守等ヲ爲シタル日數ヲ算入ス。被雇雇人日數トハ、農繁ノ季節臨時雇入又ハ數ケ月間雇入タル秋女ノ如キモノヲ計上シタリ。他家ニ雇ハレ日數トハ、主トシテ出稼日數ニシテ、他縣下へ出ツルト村内外ノ他家へ出ツルトヲ問ハス其日數ヲ計上シタリ						

第十六 役 用 家 畜

頭 數	價 格	使用年 限	一ケ年間 飼料價格	一ケ年間 使用日數	農 用	駄 賃 用	雜 用
馬	一、〇〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	一、五、八四〇	一、四八五	一、四八五	三、四七六
牛	一、五〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	一、五、八四〇	一、四八五	一、四八五	三、四七六

第十七 副業

備考

本村ニ飼養スル家畜ノ如キハ殆ンド馬ノミニシテ、牛ノ如キハ唯僅カニ一頭アルノミ。而シテ馬ハ明治初年頃迄ハ其飼養數夥シカリシガ、中頃頓ニ其數ヲ減シ、近年又増加ノ傾向アリ。其價格ノ如キハ最高百圓ヨリ最低參拾圓位ニシテ、中ニハ農業用ノ外ニ運送業ニ使用スルモノアリト雖モ、其大部分ハ馬耕ニ用キルモノニシテ、飼養料ノ如キ一ケ年約一頭ニ付參拾四圓位ヲ要スルモ稀ニハ農閑ノ節山村ニ預ケ入ル、モノアリ

(イ) 家禽

鶏	羽數	一ケ年産卵數	全上價格	肉用羽數	全上價格	備考
	一、四九二	七、七三四	一、八八、三五〇	三三	二、〇七〇	飼養戸數四百〇九戸

備考

本村ニ於ケル家禽ハ、單ニ鶏ノミニシテ其鶏亦多クハ放飼ナルヲ以テ農家ノ副業ト見做ス可キ程度ノ域ニ進マズ、從ヒテ全然之ヲ飼養セザル部落ハ二十六ヶ字中三ヶ大字ナリ

(ロ) 蠶

飼育蠶量	桑ノ數量	全上價格	收繭高	全上價格
六四、七〇	二、九三九、一九〇	一五二、九五〇	三九、四五〇	四七五、九二六

本村農業ニ關スル施設ノ狀況

一、土地及戸口

(イ) 本村ノ土地所有者ト戸口

本村ニ於ケル土地中、田畑反別ハ一千〇二十八町一反八畝十八步二合、地價四拾壹萬貳千貳百七拾八圓八拾壹錢ナルモ、實際本村民ノ所有スルモノハ、七百六十町一畝二十六步二合地價參拾萬參千六百九拾八圓六拾四錢ナルヲ以テ、總反別ノ七割二分九厘、總地價ノ七割二分六厘強ニ過ギズ。而シテ昨四十三年度ノ如キハ米價未曾有ノ暴落ヲ爲シ、從テ農家ノ經濟亦疲弊ニ陥リタル秋ナルニモ拘ラズ、本村民ガ他町村民ニ所有權ヲ移動シタルアルモ、猶能ク他町村民ノ本村ニ有スル土地ノ所有權ヲ獲得シテ、若干餘リアルヲ得タルガ如キハ、洵ニ喜ブ可キ好現象ニシテ、本村ノ如ク、就中高山町ニ接近スル本村ノ部落ニ於テ、年々戸數人口ノ著シク増加スル今日ニ當リテハ、是非其土地所有權ノ實力ヲ擴張セザル可カラズ。徒ニ戸口ノミ増殖シテ、土地所有者ノ是ニ伴ハザルガ如キコトアランカ、農村ノ衰頹是ヨリ甚ダシキハナシ。然ルニ本村ハ是ニ反シテ、前途稍一道ノ曙光ヲ放ツモノアルヲ見ルハ、本村農家ノ爲祝シ且賀スル所也。

二、農地

(イ) 本村ノ農地所有者ト本村民ノ他町村農地所有者ト

本村ノ田所有者ハ五百五十二人ニシテ、總人口ノ七分三厘ニ當ル、而シテ本村民ガ他町村ニ其田地ヲ所有スルモノハ三十八人ニシテ、總人口ニ比スレバ僅ニ五厘〇四ニ過ギズ。然ルニ他町村民ニシテ、本村ノ田地ヲ所有スルモノハ、百三十八ナルヲ以テ一分七厘ニ當ル。故ニ本村民ハ今後大ニ奮勵勤勉シテ、本村ノ農地ハ全部、本村民ニ於テ所有スルニ至ランコトノ自覺ヲ有セザル可カラズ

(ロ) 農地所有權ノ異動變遷

本村ニ於テ其農地所有權ノ他町村ニ移動スルハ、主トシテ舊價ノ價遠並ニ農家經濟ノ破綻コレガ因ヲナスモ「土地及戸口」ノ部ニ於テ略述セシ如ク、昨四十二年ニ於テサ、好現象ヲ現セルヲ以テ、今後農家ガ斯業ニ倦怠セザル限リハ、決シテ他町村ニ甚ダシキ移動ヲナスコトナカラシム、一朝凶歉ニ遭シテセンカ、或ハ悲ム可キ徵象ヲ惹起スルヤモ、未ダ測リ知ル可カラズ。何トナレバ本村ニ於ケル某々大字ノ如キハ、其大半ヲ他町村民ニ所有セラレツ、アレバナリ、是レ洵ニ寒心ニ堪ヘザル所ナリ。故ヲ以テ今後互ニ警戒セザル可カラズ

(ハ) 農地賣買價格ト公定地價トノ比較

農地ノ賣買價格ハ、人ニヨリ處ニヨリテ、其軌ヲ一ニセズト雖モ、就中米價ノ昂騰ト、人口ノ増殖ト、農事改良ノ發達トハ、著シク其價格ヲ向上セシムル所以ニシテ、本村ノ如キハ、其接近セル高田町ガ大發展スルニ伴ヒ、將來益々騰貴ノ一方ニ傾クモノノ如シ。

(ニ) 一毛作ト二毛作ト

本村ニ於ケル二毛作ハ、時勢ノ推移ニ反比例シテ、衰頹ヲ來セリ。其事由ヲ稽フルニ、十數年以前ハ、二毛作トシテ藍、大麥、薯蕷等ヲ栽培セシモ、近年勞銀及金肥ノ昂騰ニヨリ、收支相償ハザルニ至リテ、二毛作ハ俄然減少シテ、昔日ノ觀ヲ止メズ。是レ吾人ノ大ニ研究ニ値スル問題タラズンバアラズ

(ホ) 灌 溉 水

本村ハ其兩端、河川ニヨリテ圍繞セラル、ヲ以テ灌漑水ニ不便ナル田地ハ比較的僅少也。而シテ其水利組合ヲ設置スルモノ其數七箇ナルヲ以テ、早損地ノ鮮少ナルハ、其統計ノ示ス所ニヨリテ明カナリ。然レドモ一朝旱魃ノ際ハ、部落ニヨリテ灌漑水ノ缺乏ヲ來タス所アルハ從來ノ例ニ徴シテ瞭然タリ

三、農 民

(イ) 農業戸數及人口

本村ノ農業戸數ハ、總テ九百十二戸ニシテ、現住戸數ノ八割八分七厘ニ相當ス。而シテ其專業ヨリモ兼業ノ多キハ、一ハ兼業ノ薄利ナルト、他ハ市街ニ接近シ交通ノ便宜シキトヲ以テ也、就中市街ニ接觸スル部落、並ニ交通ノ利便ナル地方ハ、兼業者ノ増加著シキ傾向アリ。是レ即チ地利ノ然ラシムル處ニシテ、是レ其兼業者ガ、其本業タル農業ヲ忽諸ニ附スルコトナタンバ又何ンゾ妨ゲンヤ。

(ロ) 耕作反別ト農戸口ト自作及小作戸數トノ比較

本村農家ノ一戸當リ耕作反別ト、一人當リ耕作反別トヲ調査セシニ、他町村ニ於テ、未ダ見聞シ能ハザルガ如キ好都合ヲ現出セリ。是レ洵ニ本村農家經濟ノ爲喜ブ所タラズンバアラズ。即一戸當リ田反別一町一畝二十步四合、一人當リ田反別二反八畝二步七合六也。其最多ノ田地ヲ耕作スルモノ、即チ二町步以上ノモノ實ニ三十六戸ヲ算セリ。

抑本村ニ於ケル小作者ノ戸數ハ最多ク、之ヲ農戸數ニ比スレバ七割四分ニ當リ、之ヲ自作戸數及自作兼小作戸數ニ比較スレバ二割八分四厘ニ當ル。然レトモ本村内ニ於ケル農地所有權ノ異動ヲ調査スルニ、是等ノ農地ハ、自作兼小作農若クハ小作農ニ向ヒテ移動スルノ兆候アリ。是レ即小作戸數ヲ減ジテ、一方ニ自作戸數及自作兼小作戸數ヲ増加スルモノナリト推スルヲ得可シ。

四、栽 培

(イ) 水稻栽培ノ種類

本村ニ於ケル水稻栽培ノ種類ハ、未ダ統一スルニ至ラザレドモ、概シテ粳米ニアリテハ珍光(高田早生)鳥

元、六左工門、大場、越中、豊後、兼一、信州坊主、大黒、江州、福市、早稻坊主、野澤、白石、美濃坊主、權兵衛、上州坊主、早高、白前澤、銀場、石白、愛國、寶坊主等其數實ニ三十有餘種ニシテ頗ル雜駁ナリ。糯米ニ在リテハ大阪糯、越中糯、石白糯等ニシテ主トシテ自家用及ヒ肥料購入代價トシテ栽培スルニ止リ他ニ販賣スルモノ極メテ少シ。近年ニ於ケル本村稻選抜競進會ノ調査ニヨレバ、以上ノ糯米數品中、珍光(高田早生)石白、烏元等最モ良品質ナルヲ認メシト雖モ、未ダ選ニ普及スルニ至ラズ。是レ一ハ農家ガ舊慣ヲ株守スルニ因ルト、他ハ種類試驗ノ缺ケタルトニ因ルナラン歟。然レドモ種子ノ交換ヲ爲シテ、良品種ヲ統一シ、惡品種ヲ驅逐シ、因テ以テ速ニ本村ノ米質ヲ改良シテ、市場ニ聲價ヲ博セザル可カラズ。

□ 播種、插秧及除草時季

水稻ノ播種ハ、毎年五月上旬之ヲ行ヒ、插秧ハ、六月上旬ニ於テシ、正條植器ノ如キハ、定規、三角回轉器繩張等種々ノ器械ヲ用フ。除草ハ、普通三回乃至四回ニシテ、近來ハ除草器ヲ使用スルモノ多キニ至レリ。而シテ播種量ノ如キハ、未ダ舊弊ヲ改メザルモノアリテ、密播ニ失スルハ大ニ遺憾トスル所也。サレド插秧株數ハ近年ニ至リ、正條植ノ實行ト稻撰拔競進會ニ於ケル成績トノ立証ニヨリ疎植ノ弊更マリテ密植トナリ普通四十二株ト爲ス、是レ實ニ兩者ノ賜ナリト云ハザル可カラズ。カノ共同苗代ハ七ヶ所新田反別六反四畝二十七步組台員二十一名、石澤反別一反二畝步組台員六名、島田反別三反二畝步組台員十二名ノ設置アリテ著々改良作業ヲ行フ。現ニ本春ニ至リテ寺町ノ如キハ、大規模ノ共同苗代ヲ築設シタルガ如キ、又以テ人意ヲ強ウスルニ足レリ。

ハ 栽培作物ノ變遷

畑地ニ於ケル栽培作物ハ、其如何ナルモノカハ、本表掲記ノモノニヨリテ自ラ明瞭ナランモ、時勢ノ推移ニヨリ、其變遷興廢アルヲ免レス。即チ十數年以前迄ハ、藍、綿等ヲ荐リニ栽培セシモ、今ヤ其變影ダモ認めルコト能ハス。是ニ替リ馬鈴薯ノ如キハ、裏作トシテ農家ガ應分ニ栽培スルヲ見ルニ至レリ。然レドモ本村

ハ、高田町ニ於テ昨年十月ヨリ開設セシ、二七青物市並其他附近ノ需用家ニ供給センニハ、勢ヒ蔬菜ノ種類及栽培並ニ貯藏方法ノ改良ヲ遂ケサル可カラズ。是レ實ニ彌頭焦眉ノ急務ナリトス。故ヲ以テ本村農家ハ、是ヨリ層一層有利ニシテ多獲ナル蔬菜作物ノ栽培ニ着目セザル可カラズ。

ニ 果樹栽培

本村ニ於ケル果樹栽培ハ、未ダ幼稚ノ域ヲ脱スルコト能ハズ。即チ宅地ノ一隅ニ栽培セル柿、栗、梅、桃、梨、無花果等ヲ以テ、唯一無二ノ果樹ト見做スノ状態ニアリ。サレハ此等果樹ノ種類亦頗ル雜駁ニシテ、品質、形狀等ノ見ル可キモノナキハ、當然ナリト謂ヒツ可シ。本村農會ハ戊申詔書紀念事業トシテ、各戸ニ付柿苗一本宛會費ヲ以テ、共同購入シテ之ヲ頒與シタルガ、今其種類ヲ舉グレバ左表ノ如シ

柿苗種類	本數	購入先	備考
江戸	四〇三	日本種苗株式會社	江戸一以下妙丹ニ至ル五種九百七十本ハ明治四十三年五月本村二十六ヶ大字へ各種取揃ヘテ頒與ス、是レ如何ナル種類ハ如何ナル地味ニ適應スルカラ輕便セントメント同時ニ、各品種ヲ各地ニ増殖セシメシメシ
百	三二四	全	同上
禪寺	一一四	全	同上
子成	一〇〇	本郡農會	同上
妙丹	二九	共同購入取扱	同上
三國	二五	全	同上
大河	三五	全	同上
合計	一、〇三〇		明治四十四年四月是ヲ頒與ス、其方法亦同ジ

ホ 金肥購入ノ狀況

本村ニ於テ、農家ガ金肥ト稱シテ、年々購入スルモノハ、大豆粕、人糞尿、大豆、厩肥、燒耐粕、醬油粕、

米糠、餵粕、油粕、人造肥料、毛髮等ニシテ、四時ヲ間ハズ農暇ニハ、營々トシテ早出晚退、能ク糞尿ノ運搬ニ努メ來ルコト玆ニ數十年、近時高田町ノ糞尿ヲ以テ足レリトセズ。遠ク直江津町ニ迄、是レヲ購入スルモノ續出セシガ、時偶々第十三師團ノ創設ト共ニ糞尿及厩肥ノ供給饒富ニ上リシヲ以テ、是ヨリ本村金肥大部分ノ供給ハ、高田町及ビ第十三師團ノ兩者ニ仰グニ至レリ。而シテ大豆粕ノ如キハ、直江津町及ビ本村ノ商人ヨリ共同購入スルヲ例ト爲ス。而シテ本村ノ肥料ハ、金肥ニ俟ツアルモノ多キヲ以テ、米價ノ高低ハ、直ニ延キテ金肥購入ノ多寡ニ影響ス、彼ノ一昨秋ヨリ昨春ニ跨リテ、米價無比ノ暴落ヲナシ、時ニハ、本村農家一般ニ大打撃ヲ蒙リシナリ。是ヲ以テ、本村金肥購入ノ多寡ハ、米價ノ高低ニ正比例シテ、左右セラルルモノナリト云フヲ得ンカ。

(ハ) 米穀ノ輸出

本村ハ、米作ヲ以テ其本業ト爲スハ、上來續述セルガ如シ。故ニ農産物中、著シキ輸出額ヲ算スルモノハ、米穀ヲ指キテ他ニ之レアルヲ見ズ。其ノ輸出ノ趨勢ヲ調査スルハ、本村農事改良上ニ資スル甚大ナルモノアルモ憾ムラクハ既往ニ於ケル數字ハ、確實ナル統計ヲ得ル能ハザルヲ。今左ニ昨四十三年度ニ於ケル輸出額ヲ示サン。

明四治十三年米穀輸出調査表

種別	生産額	合計	消費額	合計
米	一、九、六、三、九、六石	一、九、六、三、九、六石	九、〇、〇、〇、〇石	一、〇、六、三、九、六石
穀	一、九、六、三、九、六石	一、九、六、三、九、六石	九、〇、〇、〇、〇石	一、〇、六、三、九、六石
他町村民ヨリ 本村地主ニ納 入スル小作米	三、三、三、三、三石	三、三、三、三、三石	三、三、三、三、三石	三、三、三、三、三石
本村民ヨリ他町 村地主ニ納 入スル小作米	三、三、三、三、三石	三、三、三、三、三石	三、三、三、三、三石	三、三、三、三、三石
合計	五、三、〇、七、三、二石	五、三、〇、七、三、二石	一、二、三、〇、〇、〇石	四、〇、七、七、三、二石

五、經濟

(イ) 農民一家經濟ノ狀況

本村ニ於ケル農民一家經濟ノ内容ヲ概述スレバ、未ダ亟ニ鞏固ナリト確言スルヲ得ズ。何トナレバ、小作農ノ如キハ、米作ノミニテ生計ヲ維持スル能ハズ、幸クモ葦細工ノ如キ副業及勞働ノ收入等ニヨリテ持續シ來レルハ本村ノ現狀ナレバナリ。其生活費ノ嵩ムカ爲ニ、生計困難ニ陥ルハ慥ニ其近因ナリトス。又大地主ノ如キハ、米價ノ低落若クハ凶年水害ニ遭遇センカ、大打撃ヲ蒙ルハ、炳焉火ヲ睹ルヨリ明カナリ。而シテ其ノ所有スル土地ハ、村内ニ移動スル場合ハ、其所有權多ク自作兼小作農、若クハ自作農ニ歸スル狀態ナリ。斯ノ如ク農家大小トモ其一家經濟ハ、何レモ未ダ鞏固ナル能ハズ。此故ニ本村大字寺町、石澤、七ヶ所新田ノ三ヶ大字ノ如キハ、字民一同申合セテ報德社ヲ結ビ、以テ子孫永安ノ計ヲ確立セントス。

(ロ) 貧富ノ程度

本村ハ、貧富ノ程度餘リニ懸隔シタルモノニアラズ。即チ大地主ト稱スルハ、本村ノ田地十町歩ヨリ二十町歩以下ヲ有スルモノニシテ、此等ノ地主七名アリ。而シテ五町歩以上二十人、三町歩以上二十三人、二町歩以上三十一人、一町歩以上六十七人、五反歩以上七十四人、五反歩未満三百三十人ニシテ、地主ノ總數ハ本籍人口ノ七分三厘、本籍戶數ノ四割六分二厘ニ相當ス。某々大字ニ至リテハ、貧富ノ懸隔セルモノナキニシモアラズト雖モ、概シテ其差違甚ダシキ狀態ニアラズト稱スルヲ妥當ナリト云フ可シ。

(ハ) 農家ノ經濟ト米價ト

由來米作ヲ以テ支フル本村ノ農家經濟ハ、主ニ米價ノ高低ニヨリテ消長ヲ來タス。現ニ昨四十三年度ノ如キハ、米價ノ異落ニ其因シテ、本村農家ノ收入不足ニヨリ、本村ノ歳出ハ、歳入ヲ超過スルコト、實ニ五萬七千餘圓ノ多キニ上レリ。今假リニ米價一石ニ就キ、參圓五拾錢宛ノ上納トナレリトセバ、本村ノ米産額一萬九千六百三十一石九斗六升四合ニ對シテハ、六萬八千七百拾圓八拾七錢四厘ノ收入増加ヲ來シテ、此歳出超過ヲ補充シテ、尙裕ニ餘財アルコト、壹萬壹千參百七拾七圓五拾參錢六厘ヲ算スルヲ得。故ヲ以テ、今日

如ク農家が過大ノ負擔ニ困ミ、且一方生活費ノ向上セル場合ニ於テハ、米價ガ相當ノ價格ヲ保タザレバ、農民ノ購買力ヲ増加スルコト難カル可シ。

(二) 生産的財産ト不生産的財産ト

本村ニ於ケル總財産ノ若干ナルカハ、未ダ調査セザルヲ以テ茲ニ掲記スルヲ得ズ、從ヒテ其生産的、不生産的の財産ヲ區別スル能ハザル也。由來不生産的財産中ニハ、殆ンド負債ニ等シキモノアルヲ以テ、生産的財産ノ増加センコトハ、本村ノ渴望スル所ナリ。何トナレバ、本村ガ如何ニ巨萬ノ財産アルモ、其財産ハ不幸ニシテ不生産的財産多額ニ上レル場合ニ於テハ、折角ノ財産モ、本村ノ爲富力ヲ増加スル、眞ノ財産ト稱スルヲ得ザレバ也。

(ホ) 本村民負債ノ内容

本村民ガ他町村民ヨリ巨額ノ負債ヲ有スルハ、統計ノ示ス所ニヨリテ明瞭ナリ。然レトモ本村民ガ公債、株券、郵便貯金、銀行預金等ヲ所有スル總額ハ、拾八萬六千〇六拾四圓六拾壹錢ニシテ、正ニ負債五萬九千四百七拾壹圓ヲ償却シテ、餘リアルコト拾貳萬六千五百九拾參圓六拾壹錢也。然リ而シテ其負債ノ内容ハ、今容易ニ窺知スルヲ得ズ。

元來負債ト雖モ、其用途不生産的ニアラズシテ、土地ノ買入、土地ノ改良、肥料購入資金ノ如キ、固定資本ニセヨ、流通資本ニセヨ、兎モ角モ生産的資金ナランニハ、敢テ杞憂トスルニ足ラザル也。

(ヘ) 報酬及給料

本村民ガ他町村民ヨリ得ル報酬及給料ヲ調査スルニ、給料最モ多額ニシテ、報酬之ニ亞グ。而シテ給料ハ、主トシテ教員、官吏ニシテ、公吏ハ總テ本村吏員也。報酬ハ會社重役、醫師、僧侶、神官等ノ所得ニシテ、雜トハ諸官衙會社雇、其他丁徭、小僧ニ至ル迄ノモノヲ指スヲ以テ、其範圍最モ廣シ。元來本村ハ、高田町ニ

接近スルヲ以テ、日々通動スルノ便アリ。故ニ調査表中、雜ト稱スルモノ、其多數ヲ占ムル又偶然ナラザルノミナラズ、今後益々増加セントスルノ傾向アリ。是亦已ムヲ得ザルベキカ。

(ト) 勞働利益

本村ニ於ケル勞働利益ハ、諸職工ヲ除ク外、多クハ高山町其他附近村落ニ出テ、勞働スルモノニシテ、其如何ナル業務ニ雇ハル、カヲ記セバ、農業以外ニハ、日雇、賃取、駄賃取、荷車挽、運送役等ヲ爲スモノ多シ而シテ是等ノ農民ハ、本村中如何ナル部落ニ夥シキカヲ調査スルニ、高山町ニ隣レテ、交通ノ便、比較的開ケタル地方ヲ其最トシ、交通ノ不便ナルニ從ヒテ、是等賃取者ヲ減少ス。

六、勞力

(イ) 馬耕ト勞力トノ關係

本村ニ於テ、農業ニ使用スル馬匹ハ、百八丁頭ニシテ、之ヲ本村ノ大字數ニ割富レバ、一大字六頭九分也。而シテ之ヲ田耕作反別ニ比較スレバ、五町一反五畝歩ニ一頭ノ割合也。故ニ本村ハ乾田ノ大部分ナルニ比シテ、馬耕反別ノ僅少ナルハ、瞭然トシテ明カ也。今ヤ勞力ノ需用、一年ニ増加シテ、農業勞力ノ拂底ヲ訴フルノ時ニ當リテ、如斯現狀ヲ呈ス。農家タルモノ大ニ發奮醒覺シテ、農馬ヲ飼養シ、厩肥ノ製造ニ且馬耕ノ用ニ供シテ、以テ勞力拂底ノ缺陷ヲ補ハザル可カラズ。

(ロ) 農馬ト荷車ト

本村ニ於ケル農馬ノ買入價格ハ、一頭ニ付平均五拾七圓貳拾貳錢ヲ算スルモ、中ニハ一頭百圓ヲ以テ購入シタルモノ四五頭ニ上レリ。斯カル高價ナルモノヲ求ムルハ、其資本運用ノ妙ヲ得タルモノト稱スルヲ得ズ。然リ而シテ其使用年限ハ、約十ヶ年ナルヲ以テ、一ヶ年五圓七拾貳錢ノ元金ト、之ニ參拾四圓餘ノ飼料トヲ

要ス。故ニ四拾圓餘ノ資本ヲ消費スル譯ナリ、然ルニ往々夏期ニハ、無價ニテ他ニ貸附クルモノナキニシモアラズ。斯クノ如クンバ、折角ノ厩肥モ製造スルコトヲ得ザルヲ以テ、其飼養上ノ効用ヲ没却スルノ憾ミアリ。宜シク是等ノ弊竇ハ洗除セザル可カラズ。

本村ニ於テ農馬ニ次デ農業勞力ヲ補給スルモノハ、荷車ナリ。荷車ハ肥料ノ運搬ヲ始メ、農繁時ニ於ケル收穫物ヲ自家ニ輸送スル等、其人力ヲ省略スルコト蓋シ鮮少ニアラズ。本村ノ過去ニ於テハ人力ニ代リシモノハ、農馬ノ力ニ限ラレタルガ如キ感アリシモ、今ヤ交通ノ便開ケ車力ヲ利用スルコト甚大ナルヲ以テ、本村民所有ノ荷車四百九十八個、荷馬車十五箇ヲ算スルニ至レリ。即チ四十二年度ヨリ激増スルコト荷車三十七箇、荷馬車二箇、之ヲ本村農家ニ比スレバ一戸七分二一輛ヲ所有スルニ當ル。而シテ今後益々倍從センコトハ必然ノ數ナリ

七、家禽

本村ニ於ケル家禽ハ、其飼養方法未ダ完キヲ得ズ。何トナレバ其多クハ放飼ニシテ、一一熱心ナル養鶏家ガ、完全ナル鶏舎ヲ有スルアルノミナレバ也。元來放飼ハ、農作物ヲ害スルコト茲ニ贅スル須タズ、是ヲ以テ部落ニヨリテハ、申合セテ全廢シタルアリ、眞ニ本村ノ家禽ヲ發達セシメンニハ、其飼養法ノ改良ヲ要ス。

八、副業

(イ) 本業ト副業ト

本村ノ如キハ、其本業トスル所ハ稻作ニアルヲ以テ、副業タル地方出稼者ノ盛ンナルニ於テハ、却テ本業ノ等閑ニ附セラル、コトアリ。即チ明治四十一年第十三師團ノ工事起ルヤ、老幼壯者相競ヒ、此工事ニ從ヒシヲ以テ、耕作ヲ粗笨ナラシメタルガ如キ傾向アリキ。故ヲ以テ本村ニ於ケル副業ノ選擇並ニ其獎勵ノ程度ハ

實ニ篤農者ノ指導ニ俟タズンバアル可カラズ、然ルニ副業起リテ、本業衰フルガ如キ兆候ヲ生センカ、本村ノ衰頹ヲ招致スルニ至ル。豈寒心セザル可ケンヤ。

(ロ) 藁細工

本村ニ於テ、輸出スル藁細工ノ種類ヲ舉グレバ、繩、俵、草鞋等何レモ冬季間ノ副業也。而シテ高田町ニ接近スル部落ハ、駄賃取ニ忙ハシキヲ以テ、接近セザル部落ハ、比較的其算出高多キガ如シ。

九、職業

(イ) 農專業ト農兼業ト

本村ニ於ケル農專業戸數ハ、農家總戸數ノ六割一分ニ當ル、蓋シ農專業ヲ以テ、生計ヲ維持センニハ、勢ヒ多クノ農地ヲ耕作セザル可カラズ。耕作地ノ少キモノハ、自ラ他ノ副業的業務ヲ兼スルニ至ル。加之、此兼業戸數ハ、交通ノ便否ニヨリテ其多寡ヲ生ズ。即交通ノ便ナル部落ハ、兼業者從ヒテ多キガ如シ。是レ此部落ニ於ケル農民ノ生計程度ハ、交通不便ナル部落ニ比シテ向上セルハ疑フ可ラザル事實ナリトス。是レ其兼業者ヲ生ズル所以也。

(ロ) 商工業ノ狀況

本村ハ農村ト稱スルヲ得可キモ、純粹ナル農村ト目スル能ハズ、即チ七ヶ所新田、土合、脇野田、今泉、荒町ノ五ヶ字民ノ雜居ヨリ成ル所謂茶屋町ト稱スル部落ハ、連擔櫛比シテ、商業ヲ營ムヲ以テ也。然レドモ、未ダ商業ヲ以テ生計ヲ維持スル程ニ般盛ナラズ。從テ鋪鉢ノ利ヲ爭フモノ極メテ尠ク、半商半農ノ狀態ナリ其他ノ部落ニ至リテハ、字民日用ノ雜貨食品ヲ鬻ク商估アルノミ。

十、風俗及習慣

本村ニ於ケル農家ノ風俗ハ、質樸ナリト云フヲ得ズト雖モ、幸ニシテ未ダ都會ノ惡風ニ浸染スルニ至ラズ、タ、高田町ニ接續スル二三部落ハ、他ノ部落ヨリモ其服裝ニ於テ、邊幅ヲ修飾スルガ如キ嫌ヒナキニアラズ、サレド彼ノ青年者流ハ、酒色ニ耽溺シ、或ハ四圍ノ誘惑ニ茶毒セラル、モノヲ見ズ、又一般ニ農業ニ關スル休日等ハ、舊慣ヲ更メズシテ是ヲ踏襲ス。

十一、本村民ノ農業ニ對スル觀念

本村民ハ、曾テ農業ニ對シテ、些カモ嫌忌スルノ觀念ヲ生セザルハ、本村農界ノ爲相共ニ慶スル所也。而シテ本村第二ノ繼承者タル青年、亦進ミテ農事ニ勉勵シツ、アルヲ以テ、祖先ノ遺業タル農業ヲ捨テ、苟モ他ノ職業ヲ求ムルガ如キ、若クハ又勞働ヲ厭ウテ、他ニ奉職糊口セントスルガ如キ現象ヲ認メズ。

十二、本村農會ノ施設事業

本村農會ハ、明治三十七年三月ノ創設ニシテ、會長ハ常ニ本村長ヲ以テ之ニ推シ、副會長以下役員ハ、村内ニ於テ最モ多ク農事ノ振盪ト休戚ヲ同ジウスル大地主及地主ヲ以テス。故ニ役員ノ在職比較的長キノミナラズ、一人トシテ其職ヲ曠ウスルモノアラズ、其農事ノ督勵ニ方リテヤ、役場吏員ト協心戮力シ、篋笠ヲ纏ウテ、櫛風沐雨ヲ厭ハズ、隴畝ノ間ニ、克ク農民ヲ指導スルコト茲ニ多年ナリキ、是故ニ農民ハ共同一致、克ク農事ノ改善ニ從フニ至ル。

フニ本村農會ヲ創設スルヤ、本縣ニ於テ農事改良必行事項ノ備ハラザル秋ナリシヲ以テ、本會ハ其會費ノ全部ヲ村稅ノ補助ニ仰ギ、縣立高田農學校第一回卒業生ヲ以テ、本會技手ニ任用シ、模範田ヲ數十箇所ニ設ケタリ。而シテ其担当者ニハ、短期農事講習生ヲ以テ之ニ充テ、範ヲ一般農家ニ示ス所アリキ。爾來模範田ノ擴張ヲ行ヒテ、各大字ニハ必ズ一箇所宛ヲ設ケ、或ハ農閑一團ヲナシ巡視團ト稱シテ本郡農事試驗場、縣立農學校、郡内模範村等ヲ視察シ、或ハ老農等ヲ訪問シテ、裨益スル所鈔カラズ、次テ本縣ニ於テ、農事改

良必行事項ヲ諭告セラル、ヤ、本村ハ農事督勵委員ヲ設ケテ、必行事項ヲ實踐シ來リシガ、嘗テ本會ニ於テ經營セシ模範田ノ内容ハ、已ニ本村農家悉ク舉ゲテ之ニ倣ヒシヲ以テ模範田ノ必要ヲ認メザルニ至リ、之ヲ全廢シテ代フルニ探種田ヲ以テシタリキ。後此事業ヲ變更シ、共同苗代及完全苗代ヲ最モ模範的ニ施設セシ部落ヲ表彰スルニ、本村ノ農業紀念日タル六月二十二日ヲ以テシ、毎歲之ヲ行フ。マタ秋季ハ必ズ本郡農會ノ稻選拔競進會ニ加入シテ、本村ノ立毛七十八箇所ノ坪刈ヲ行ヒ、其優等ナルモノニ夫々褒賞シ、或ハ農産物品評會或ハ小作米品評會ヲ併催シテ、蔬菜、米質ノ改良ニ費スル所アリ。且又役員ヲ東京府下並ニ千葉縣等ニ派シテ、農事ノ視察ヲナサシメ、歸來之ガ報告ヲ會報ニ掲載シテ、一般會員ノ覺醒ヲ促シ、以テ今日ニ至レリ。是レヨリ先キ本郡農會カ、本郡ニ模範村ヲ設クルヤ、廣島、石澤、七ヶ所新田ノ三字推サレテ模範字ト爲ル。爾後寺町、石澤、七ヶ所新田ノ三字ハ、卒先シテ民風ノ作興、勸儉貯蓄ノ必要ヲ唱へ、二宮先生ノ報德主義ニ基ツキ報德社ヲ結ビテ、其主義ノ實踐ニ努ムルノミナラズ、是ヨリ前、和田・大和・兩信用組合、城南購買販賣組合、相前後シテ設立セラル、ニ至レリ。是レ本村農會既往現在ニ於ケル施設事業ノ大要也。

第十九、將來ノ施設

第一、耕地

一、所有關係

本村民ノ他町村ニ所有スル耕地ハ田三十一町一反畑五町六反歩ニシテ本村内ノ耕地ヲ他町村民ニ於テ所有スル反別ハ田二百五十三町六反畑十四町四反歩ナリトス故ニ本村ノ全耕地田九百五十三町二反ノ内自ラ所有スルモノハ七百三十町六反ニシテ差引二百二十二町六反即チ二割三分ハ他町村民ニ所有セラル畑亦差引八町八反歩ハ他町村民ニ所有セラル、之レ本村民ノ考慮スヘキ點ニシテ一村ノ獨立ハ先ツ土地所有權ノ關係ヲ基礎トセザルヘカラス。

故ニ將來ハ本村耕地ハ可成本村民ニ於テ所有スル方法ヲ講セサルヘカラス而シテ土地移動ノ狀況ヲ見ルニ他町村ニ出テタル反別六町三反歩ニ對シ入ハ八町歩ナルカ故ニ僅少ナカラ良好ノ状態ニアルハ喜フヘキ現象ナリト雖猶ホ之ヲ擴大スル方法ヲ講セサルヘカラス。

二、耕作關係

自他町村民ノ耕作關係ヲ見ルニ差引田十七町四反畑十七町八反歩ハ他町村民ニ依テ耕作セラルルカ故ニ本村民ノ耕作反別ハ田九百二十七町三反畑五十五町六反歩ニシテ之レヲ農業戸數九百七十二戸ニ平均スレハ田一町一畝歩畑五畝歩從業者一人當田二反八畝歩畑一畝餘歩ニシテ之ヲ他町村ニ比較スレハ耕地而積割合多キ方ニアラス田所有反別ノ多少ニヨル區別ヲ見ルモ皆無及五反歩未滿ノ戸數三百七十戸ニシテ總數ノ六割餘ヲ占ム自作、小作ノ關係 自作者百四十五戸自作兼小作者九十二戸小作者六百七十五戸ニシテ小作者ノ數七割餘ヲ占ム。又其耕地ノ區別ニヨル田ノ自作地百三十八町三反歩ニ對シ小作地七百八十八町九反歩ニシテ小作地八割餘ヲ占ム。

以上耕地ノ所有及耕作關係ヲ概觀スレハ本村ハ小農最モ多シト云ハサルヘカラス左レハ將來ノ施設モ單ニ自作者ヲ主眼トセス主トシテ小農即チ小作農ノ扶掖ヲ計ルヲ以テ急務トスヘシ。

三、耕地整理

生産ノ項ニ敘述セル如ク牛馬耕ヲ行フニ當リ最モ必要ナルハ耕地ノ整理ナリトス特ニ現在ニ於ケル耕地反別ノ不正確ナル到底確實ナル施肥量ノ割當テ收穫物ノ計算等ヲ爲シ能ハサルノミナラス收量ノ増加ヲ計ル上ニ於テ亦必要ナル手段ナレハナリ。

第二、生産

一、米作

本村田反別九百五十三町二反歩ノ内三百三十三町一反歩ヲ占ムル中等田ノ收量ハ一反歩一石九斗餘二百二十八町五反歩ヲ占ムル上等田一反歩ノ收量二石三斗餘其他百四十三町歩ノ極上等田二石六斗以下ノ二百四十七町歩ハ一石四斗乃至一石七斗ニシテ氣候地質土性等ノ上ヨリ考察スルニ以上ハ決シテ十分ノ收量ナリト云フヘカラス。

次ニ稻作肥料施用狀況ヲ見ルニ標準調査ニ依レハ一反歩ノ用量下肥百貫大豆粕十一貫三百匁藁二十七貫三百匁合計金參圓五拾匁乃至四圓、又本村ニ於ケル肥料使用總高ヨリ推算スルモ殆ント同様ノ反當價額ヲ得。

又牛馬耕反別ハ田ニ於テ二百六十六町歩ニシテ全反別ノ約四分ノ一ニ過キス。

其他本調査各欄ニ亘リテ敘述シタル狀況ヲ歸納スレハ現在ノ生産物中最モ重要ナル稻作ノ收量多カラサル原因ハ一ニシテ足ラスト雖モ

(イ) 概シテ淺耕ナルコト

(ロ) 肥料施用量少キコト

ノ二項ヲ重ナルモノトス、故ニ將來稻作ニ對スル施設ハ

(一) 深耕ヲ行フコト

(二) 施肥量ヲ増加スルコト

(三) 密植ヲ行フコト

ノ三項ヲ實施普及スヘキナリ。

(一) 深耕ヲ實行スルニ當リ必要ナルハ牛馬耕ナリトス、何トナレハ本村ノ土性ニ川沿ノ砂質地ヲ除ク外ハ概シテ粘質ノ乾田地多ク之レヲハ人力ノミニ依テ耕起スル時ハ勢ヒ淺耕トナルヲ免レス故ニ牛馬耕ヲ行フ要アリ而シテ其實施方法ハ大字ニヨリ事情ヲ異ニスルカ故ニ部落毎ニ協定セシメサルヘカラスト雖モ大体ハ字内ノ青年ヲシテ牛馬耕組合ヲ設ケシメ全部落共同シテ請負耕働ヲ行ハシムヘキナリ。

(二) 施肥量ニ就テハ從來本村ハ肥料總價額四萬五千九百五拾八圓ノ内貳萬九千六百六拾貳圓ハ金肥ニシテ差

引殘壹萬六千七百九拾六圓ハ村内生産肥料ノ見積價額ナリトス。
 故ニ將來或ル程度迄金肥ノ施用モ増加セシムル必要アリト雖モ主トシテ手肥ノ生産ヲ圖ラサルヘカラス。
 手肥生産ノ方法ハ農閑ノ勞力ヲ利用シテ堆肥ノ材料ヲ採收シ之レカ製造ヲ行ハシムルニアリ、殊ニ本村ハ
 市街トノ關係上一面ニ於テ蔬菜栽培ヲ行フ利アルト同時ニ肥料ヲ得易キ便アルヲ以テ腐肥人糞尿ヲ購入シ
 テ使用スルモ亦一方法ナリトス。

(二) 密植ヲ行フコト、本村從來ノ插秧ハ粗植ニ失スルヲ以テ或ル度迄ハ密植ヲ獎勵スヘシ。
 而シテ其程度ハ土地ニヨリ稻ノ種類ニヨリ肥料ニヨリ斟酌セサルヘカラスト雖モ特ニ優レタル肥沃地ニ多
 量ノ施肥ヲ行フ場合ノ外ハ普通一步ノ株數四十二株乃至六十四株トシテ移植ノ形式ハ長方形モ亦一法ナル
 ヘシ。

二、蔬菜

本村ハ高田ノ市街ニ隣接シ蔬菜栽培地トシテハ極メテ恰好ノ地位ヲ占ムルニ關ラス其生産狀態ヲ見ルニ二
 十一種壹萬貳千餘圓ニ過キス今本村ノ畑反別ヲ見ルニ七十四町九反歩ニシテ一戸平均約一反歩ニ過キサレ
 ハ概觀上畑地少キ方ナリト雖モ大字ニヨリ大差アルヲ以テ其數多キ地方ニアリテハ特ニ意ヲ用フヘキナリ
 而シテ一種二町歩以上耕作スル種類ト其反當粗收入ヲ見ルニ

作物	反別	反當收入
大根	一三、九	二、九四
午莠	二、四	二七、五
茄子	五、〇	三〇、四
胡瓜	二、〇	二五、七
越瓜	二、三	二五、五
葱	一、八	四、六

作物	反別	反當收入
苧類	八、六	一六、五〇
芋	三、二	五、二五
哇薯	一〇、一	一八、一五
南瓜	三、〇	四、〇五

前表ニヨレハ割合ニ收入多キハ里芋葱ノ二種ナリト雖モ、一面需用關係モ亦考慮セサルヘカラサルカ故ニ
 收入多キ一ニ種ニ止ムル能ハスト雖モ、要ハ他ニ競争少ナキ適種ヲ選フヘキナリ例ヘハ甘藍ノ如キ現在ノ
 作付反別ニ反歩餘ニ過キスト雖モ一反歩ノ收入ハ參拾七圓餘ニシテ將來有望ノ作物ト認メサルヘカラス。

三、果樹

本村ノ果樹現況ハ作付反別四町一反歩ニシテ收入九百拾九圓ニ過キス即チ知ル栽培果樹少ナク多クハ自然
 ニ委セタルモノナルコトヲ故ニ將來ハ事情之レヲ許ス家庭ニシテ適地ヲ有スル當業者ニハ之レカ栽培ヲ勤
 誘セハ以テ收入ヲ増加シ得ヘキナリ。

四、家禽

本村家禽ノ飼育數千四百九十二羽産卵數七萬二千七百三十四ヶニシテ本村トシテハ決シテ多シト云フヘカ
 ラス今本村農業戸數七百八十一戸ノ内最小農家及兼業者等家庭ノ事情之レカ飼育ニ適セサルモノ四割餘ト
 假定スルモ飼育戸數約四百五十戸ヲ得ヘク一戸一群(平均五羽)ヲ飼育スルモ猶ホ二千二百五十羽ニシテ内
 五分ノ二ヲ雌トシ千三百五十羽一雌八十ヶ産卵セシメ得レハ十萬八千ヶノ産卵ナリトス。

而シテ之レカ飼育ノ方法ハ村内ニ種禽家ヲ設ケ農會等ヨリ之レニ補助シテ其種卵ハ普通卵ト交換セシメテ
 良種ノ普及ヲ圖ルト同時ニ普通飼育者ハ常ニ毎年一群宛孵化シニケ年ノ後其親雞ヲ賣拂フ方法ヲ實行スル
 ニ於テハ家禽ノ收入亦毎ルヘカラサルモノアリ。

五、薬工品

本村薬工品生産價格壹萬八千貳百四拾圓ナリト雖モ其大部分ハ自家用品ニシテ販賣スルモノハ金額總計貳

千餘圓ノ内重ナルモノハ繩、俵、疊、蓆、草靴、馬沓等ニシテ其工價上金最多キ疊、蓆ハ男一人十枚、草靴十五足、繩十五把、馬沓二十足ニシテ其單價草靴、馬沓ハ十足、拾貳錢、繩十把、拾壹錢、八錢、疊、蓆十枚、貳拾五錢ナルカ故ニ一人一日ノ總收入ハ貳拾錢内外ニ過キス。

然ルニ糞工品中ニアリテモ、蓆ノ如キハ足踏器(一臺拾圓)ヲ使用スルニ於テハ賣價一枚拾錢以上ノモノハ一日五枚參錢内外ノ荷庭ハ十五六枚製織スルコトヲ得ルカ故ニ小農ノ家内副業トシテ之レカ實行ヲ圖ルヘキナリ。

以上生産方面ニ於テ當面實行スヘキ事項ハ

米作ニ關スルコト

蔬菜ニ關スルコト

果樹ニ關スルコト

家畜ニ關スルコト

糞工品ニ關スルコト

ノ五項ニシテ之レカ改良ハ何レモ經濟的施設ト關聯スルヲ以テ第二ノ方法ト相俟テ之レカ實施ヲ期スヘキナリ。

第二、經濟

一、勞力

本村壯年男ノ勞働ニ從事スル者ノ數ハ千二百四十二人ニシテ自家ノ農業ニ從事スル日數ト他家ニ被雇ノ日數ト合セテ二十四萬四千九百日即チ一人平均百九十七日ハ本村民ノ職業ニ直接從事スル日數ニシテ自家ニ於テ職業以外ニ働ク日數二十三日ヲ加フルモ二百二十日ニ過キス。

即チ知ル其平均ニ於テ本村壯年男ハ一ケ年ノ内百八十日内外ハ勞働外ニ費スコトヲ、而シテ他町村トノ日

僱雇入出入ヲ見ルニ其差引ニ於テ男ハ七萬九千餘人ノ出稼トナリ女ハ一萬五千餘人ノ入稼トナリ之レヲ差引クモ尙ホ六萬四千餘人ノ出稼ニシテ本村勞力ハ甚タシキ過剩アリト云フヘキナリ。

即チ本村ハ高田町ニ隣接スルヨリ斯カル現象ヲ呈セシナランモ之ヲ一面ヨリ見レハ勞力ノ過剩ハ村内ニ於ケル生産ノ不振ヲ示スモノニシテ手工的副業ヲ起スノ要茲ニ存ス。

故ニ本村ノ生産的施設ハ或ル程度迄ハ勞力ヲ要スル方法モ實行シ得ル狀況ナルヲ以テ第二生産ニ於テ叙述シタル如キ事項ノ改良ヲ圖ルヘキナリ。

二、經濟上ノ施設

前項五ノホ(七十八頁)ニ掲ケタル如ク村通計ニ於テハ負債ヲ扣除スルモ尙ホ十二萬六千餘圓ノ蓄財アルヲ以テ金融狀態ハ良好ナリト雖モ同項イ(七十七頁)ニ於ケル一家經濟ニヨレハ不安ノ狀態ニアルモノ少カラザルヘシ。

故ニ本村ハ將來或ル程度迄ハ小農ヲシテ共同ノ利ヲ悟ラシメ以テ現ニ行ハルル報德結社カ或ハ小組合ノ方法ニヨリ十戸二十戸ノ組合ヲ組織セシメ勞力ノ交換ヨリ資金ノ融通ニ至ル迄實行セシムル目的ヲ以テ重立ハ之ヲ指導スヘキナリ。

以上各項ヲ實施スルハ個人關係ヨリ見テ本村當面ノ急務ナルノミナラス亦自治ノ基礎ヲ堅クスル所以ナルヲ以テ各階級村民ハ勿論、職ヲ公ニ奉スル士ハ齊シク一致シテ以テ其發達ヲ期スヘキナリ。

明治四十四年十一月十七日印刷
明治四十四年十一月廿二日發行

編輯者

新潟縣農會

代表者

眞柳辰亮

印刷者

高橋

印刷所

高橋活版所
新潟市東堀前通九番町
新橋市東堀前通九番町

新潟縣新潟市學校町通
二番町六十三番戶

終

